

第五十一回帝國議會  
衆議院

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府提出) 委員會會議錄(速記) 第四回

會議

大正十五年二月十日(水曜日)午前十時  
三十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中村啓次郎君

理事 神田 正雄君

理事 柏田 忠一君

一柳仲次郎君 山田 又司君

山口 嘉七君 木暮武太夫君

松岡 俊三君 中村 巍君

杉 宜陳君 長峰 與一君

牧山 耕藏君 武藤 嘉門君

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣 幣原喜重郎君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官 矢吹 省三君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)

○中村委員長 前回ニ引續キ是ヨリ開會致シマス——杉君

○杉委員 私ハ外務大臣並ニ大藏大臣ニ對シマシテ、政策ノ根本問題ニ付テ御尋致シタイノデアリマスノデ、成ベク大臣ノ御出席ヲ要求致シテ置キマス、併シ其他ノ點ニ付テ大藏關係ノ方

カラ質問致シマス、過日本委員會ニ於キマシテ武內政務次官カラ斯様ナ御話ガアッタノデアリマス、「從來勝田大藏大臣ノ時ニハ御承知ノ如ク、之ヲ救済スル爲ニ金ヲ五千萬圓貸シタ事モアルノデアリマスガ、云々」ノ事ガアリマスガ、此借款ヲ救済スル爲ニ果シテ斯ノ如ク五千萬圓ノ金ヲ、何時如何ナル方法ヲ以テ貸シタ事ガアルノデアリマスカ、其事實ヲ先ヅ御問シタイノデアリマス

○武內政府委員 私ハマダ速記ヲ見テ居リマセヌガ、只今杉君ガ御讀ミニナツタ通りニナツテ居ルト致シマスルト、少シ私ノ言ヒ廻シ方ガ惡クツテ、私ノ考ガ其儘現レテ居ラヌヤウデアリマス、私ノ申シタノハ、此問題ハ歴代内閣ノ心配サレタ、考慮サレタ問題デアツテ、或内閣ニ於キマシテハ矢張此問題——トハ申シマセヌ、斯ウデアリマス、詰リ斯ウ云フ問題ガアルノデ、サウシテソレニ關聯シテ或時ニハ一千二百萬圓ノ金ヲ支出シタ事モアルシ、又其中ノ斯ウ云フモノニ關聯シテ朝鮮銀行ガ非常ニ窮境ニナツテ居ッタカラ、斯ウ云フモノモドウカシテ救済シナケレバナラヌト云フ原因結果ヲナシテ、矢張金ヲ貸シテ救済シタコトモアルガ、サウ云フヤウナ風ノコトデハ各銀行ノ根本的ノ

整理救済ハ出來ヌカラト云フ趣意ヲ以テ、其積リデ申シタノデアリマシテ、此借款其モノニ關シテ金ヲ出シタト云フコトヲ言フタ積リデハナカッタノデアリマス、マダ速記ヲ見テ居リマセヌケレドモ、此借款ニ關聯ヲシテ、借款其モノニ付テ五千萬圓ノ金ヲ出シタト云フコトニナツテ居リマスレバ、其點ハ訂正致シテ置キマス、唯私ノ申シマシタノハ、清浦内閣ノ末葉ニ於テ矢張銀行ガ非常ニ困ツタ、困ツタ時ニ救済ノ爲ニ金ヲ出シタト云フコトヲ意味スルモノデアリマシテ、是ハ唯此事ダケデ困ツタト云フ意味デハナカッタノデアリマスガ、ソレガ矢張原因結果ヲナシテサウ云フ風ニナツタ、ソレ等モ矢張困ツタコトノ一部ニナツテ居ルノデアリマスカラ、要スルニ助ケテ行カナケレバナラヌ、政府トシテ何トカシテソレヲ救済シテ行カナケレバナラヌノデアアル、ケレドモサウ云フヤウナ風ニ少々ノ金ヲ貸スト云フ位ノ救済ノ方法デハ、此問題ノ解決ガ出來ナイト云フ趣意ヲ申シタ積リデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○杉委員 サウシマススト清浦内閣ノ終リニ貸與致シマシタル五千萬圓ト云フ救済資金ハ、同ジク此借款ノ整理ト云フコトニモ或ル程度ノ關係ヲ持ツテ居

ルト云フヤウナ御辯明デアリマシタガ、果シテサウデアリマスカ、是ハ全然此借款整理ト云フコトトハ無關係デアッタノデアリマスカ先達來ノ御答辯ヲ承ツテ居リマスルト云フト、此五千萬圓ノ整理資金ト云フモノハ、一部分ハ此借款ニ關係ヲ持ツテ居ッタノデアアル、唯御答辯ニ依リマシテモ、兎ニ角其借款ヲ整理スルト云フコトモ其目的ノ中ニ含マレテ居ルト云フヤウナ風ニ拜承致シマシタガ、果シテサウデアリマスカ、或ハ全然是ハ無關係デアルト云フノデアリマスカ、尙ホ一應御答辯ヲ願ヒタイ

○武內政府委員 本案ヲ提出致シマシタ趣意ガ、對支借款ヲ整理スルト云フノデハ元々ナイ、斯ウ云フ對支借款ニ關係ヲシテ三銀行ガ資源ヲ提供シタ、其爲ニ三銀行ハ非常ニ窮境ニ在ルノデアアル、若シ之ヲ此儘ニ捨テテ置クナラバ近キ將來ニ於テ三銀行トモ破産ノ境遇ニ到達スルデアラウ、若シサウ云フコトニナレバ、ソレガ財界ニ及ボス所ノ影響ハ多大ナモノデアアルカラ、此救済ト云フ言葉モ一寸語弊ガアリマスガ、之ヲ整理ヲシテヤランナラヌノデアアル、是ガ本案ヲ提出致シマシタ趣意デアリマス、ソレデ矢張其金モ三銀行ノ中ノ一ツノ銀行ガ非常ニ窮境ニ在ル

ト云フコトニハ、矢張關係ガアルト思  
フノデアリマス、併シ是ガ其當時ニ於  
テ對支借款ノ資源ニ關スルコトヲ整理  
シテ、或ハ對支借款ニ關係シテ之ヲ整  
理スル資金デアルト云フヤウナコトガ  
アツカドウカト云フコトニナレバ、サ  
ウ云フヤウナ格段ナコトハ絶對ニナ  
イ、唯私ハ此銀行ガ非常ニ困ッテ居ル、  
サウシテ今後ニ於テ益困ル、本當ノ行  
詰リニ到達スル時ガアルノデアルト云  
フコトヲ論斷致シマシテ、從來ニ於テ  
モ餘程銀行ハ困ッテ居ル、其困ッテ居ル  
銀行ノ中ニハ矢張資源ヲ提供シタヤウ  
ナコトモアリマセウ、ケレドモ五千萬  
圓ノ金ヲ貸スト云フコトハソレ自身ガ  
直接ニ此對支借款ヲ整理スル、對支借  
款ノ關係ヲ整理スル、救済スルトカ云  
フ意味デハナイノデアリマス

アリマス、然ルニ同ジク多少ノ關係ヲ  
持ッテ居ル所ノ、只今問題ニナッテ居ル  
所ノ五千萬圓ニ付キマシテハ之ヲ整理  
シナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス  
ガ、同ジク是モ或程度ニ於テ整理サレ  
ルト云フノデアアルカ、或ハ關係ハ持ッ  
テ居ルガ、興業銀行ノ方ダケヲ整理シテ、  
朝鮮銀行ノ方ノ關係ハ其儘ニシテ置ク  
ト云フ御考デアリマスガ、尙ホ一ツ御  
答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○武内政府委員 今回提出シテ居リマ  
スル本案ニ依テ整理サレル所ノ五千萬  
圓ハ其中ニ這入ッテ居リマセヌ、尤モソ  
レハ別ノ彙ニ整理サレタ朝鮮銀行ノ整  
理案ノ關係ニナッテ居リマス、ソレデ政  
府ノ方デハ其モノノ整理ハ大體著イテ  
居ルモノト考ヘテ居リマス

○武内政府委員 ソレハ少シモ不公平  
ナコトハ無イノデアリマス、千三百萬  
圓ハ何ノ爲ニ支出サレテ居ルカト申シ  
マスルト、御承知ノ通り此借款ノ利拂  
ノ爲ニ支出サレタ金ナノデス、是ハ借  
款ノ利拂トシテ、制限サレテ支出サレ  
タ譯デス、サウシテ五千萬圓ノ方ハド  
ウカト云フト、直接此借款ヲ整理スル  
トカ、借款ニ關係シタトカ云フ債權債  
務ノ關係デハナクシテ唯一般的ニナッ  
テ居リマスカラ、一般的ノ貸借ニ向ッテ  
國民ニ重キ負擔ヲ支出セシメタ、其金  
ヲ以テ救済スルト云フヤウナコトハ、  
到底政府トシテ爲スコトハ出來ヌ事デ  
アリマス、唯借款ニ關係ヲ致シマシタ  
事柄ニ付テハ、續々是マデ申上ゲマシ  
タヤウナ名義ニ於キマシテハ、無論三  
銀行ノ關係ニナッテ居ルケレドモ、餘程  
婉曲ニ申シマスト特ニ政府ノ政策ニ順  
應シテシタノデアルト云フコトガ明白  
デアリマスカラ、ソレデ此部分ダケハ  
國費ノ負擔ヲ以テ整理ガ出來ルノデ、  
モウ一ツハ五千萬圓ノ事ヲ仰シヤルケ

○杉委員 私ノ問ハントスル所ニ少シ  
的ガ外レテ居ルヤウニ思フノデアリマ  
スガ、先日來ノ御答辯ヲ承ッテ居リマ  
スルト云フト、素ヨリ此銀行ガ窮狀ニ立  
至ッテ居ルカラ、之ヲ救済スルノデア  
ルト云フコトハ能ク分ッテ居ルノデア  
リマスケレドモ、併シソレハ同ジク此借  
款關係ニ因ル所ノ債務ヲ整理スルト云  
フ意味モ含マレテ居ルヤウナ風ニ聞イ  
テ居リマシタ、若シサウデアリマスナ  
ラバ、今回本案ニ依リマシテ政府カラ興  
業銀行ニ千三百萬圓デスカ指定預金  
ヲシテ居ルノデアリマスガ、ソレハ即  
チ本案ニ依テ之ヲ解決シテシマフノデ

○杉委員 御答辯ニ依テ政府ノ御考ガ  
ハッキリ致シマシタガ、ソレデハ本案ヲ  
提出スルニ當リマシテ、此三銀行ニ對  
シテ不公平ナ扱ヲサレルヤウナ事ニナ  
リハシナイカト思ヒマス、固ヨリ此五  
千萬圓ト云フモノハ朝鮮銀行ノ整理ノ  
爲デアツタト云フコトハ明デアリマス  
ガ、多少此借款ニ對シテ關係ヲ持ッテ居  
ル、即チ對支借款ニ依リマシテ斯ノ如  
キ窮狀ニ立至ッテ居ルノデアアル、ソレ  
救済スルト云フ關係ニナルノデアリマ  
スナラバ、同ク興業銀行ニ對シテ出シ  
テアル所ノ千三百萬圓ノ金ト同ジヤウ  
ニ、或ハ五千萬圓ノ一部分ナリトモ之  
ヲ整理スルト云フコトガ最モ公平ナル

○杉委員 然ルニ興業銀行ニ對シテノ千三百  
萬圓ハ同時ニ返還セシメ、朝鮮銀行ノ  
方ニ出シタモノニ付キマシテハ支那借  
款ニ關係ハアルケレドモ全然其儘放置  
シテ置クヤウナコトガアリマシテハ、  
各銀行ニ對スル取扱ニ不公平ヲ生ズ  
ルヤウニ考ヘマスガ、其點ハドウデス  
カ

○杉委員 然ルニ興業銀行ニ對シテノ千三百  
萬圓ハ同時ニ返還セシメ、朝鮮銀行ノ  
方ニ出シタモノニ付キマシテハ支那借  
款ニ關係ハアルケレドモ全然其儘放置  
シテ置クヤウナコトガアリマシテハ、  
各銀行ニ對スル取扱ニ不公平ヲ生ズ  
ルヤウニ考ヘマスガ、其點ハドウデス  
カ

題ハ措キタイト思フノデアリマスガ  
元來本案ヲ今回政府ガ提出致シマス所  
ノ理由ヲ考ヘテ見マスルト、政府ノ御  
話ニナル所ニ依レバ、若シ三銀行ガ將來  
破綻デモスルヤウナ事ガアツタナラバ、  
我ガ財界ニ及ボス所ノ影響甚大ナルモ  
ノガアル、隨テ今日之ヲ救済シナケレ  
バナラヌト云フ事ガ一ツノ理由デア  
ル、第二ニハ此借款成立當時ノ事情ニ

基イテ三銀行カ其營業以テ互ニ互ニ政  
府ノ具ニナツテヤツタノデアル、隨テ之  
ヲ救済スルノデアルト云フヤウナ御話  
ヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、私ハ尙ホ  
其他ニ多クノ理由ガアルノデハナイカ  
ト思ヒマス、即チ只今開カレテ居ル所

ノ支那ノ關稅會議ニ對シテ、日本カラ  
ノ提案ハ關稅二分五厘ノ増徴、ソレト  
共ニ支那ノ關稅自主權ノ確立ト云フ事  
ヲ提議致シマシタルガ爲ニ、隨テ釐金  
稅ノ廢止ト云フコトハ當然ノ歸結トシ  
テ茲ニ生ジテ來ル、サウスレバ支那ニ

或ル程度ノ缺陷ガ生ズルカラ、其缺陷ヲ補フ爲ニハ銀行等ニ借シテ居ル所ノ借款、其他支那ノ債務ニ付テノ支拂ヲ猶豫シテヤラナケレバナラヌ、所謂支那國債ノ「モラトリアム」ヲシテヤランケレバナラヌト云フ關係カラ、此問題

ニナツテ居リマス一億圓借款ニ付キマシテモ、三年間其支拂ヲ猶豫シテヤルト云フ提議ヲ我國カラ支那ニシタト云フ事ノ爲ニ、三銀行ハ少クモ三年間ハ全然此問題ニ付テ支那ト交渉モスルコ

トハ出來ヌ、全ク其權利ヲ行フコトモ出來ヌ、隨テサウ云フ損害ヲ三銀行ニカケル所ノ案ヲ政府カラ提出シタガ故ニ、本案ヲドウシテモ茲ニ出シテヤラナケレバナラヌト云フヤウナ關係ニ立至ルノデナイカト思フノデアリマスガ、若シ果シテサウデアルトスレバ、政府ハ所謂國債ノ「モラトリウム」ヲ支那ニ提議スル前ニ、三銀行ト是等ノ點ニ付テ了解ヲ得テカラシタノデアリマスカ、或ハ全然三銀行トハ沒交渉ニ此國債ノ「モラトリウム」ト云フ事ヲ支那ノ關稅會議ニ於テ提議シタノデアリカ、其點ニ付テ御伺致シタイト思フノデアリマス

デアリマスカラ、當時者自ラ不確實債務デアルケレドモ、整理シテ貰ハナイ、除外シテ貰ヒタイ、自分ハ別ニ成案ガアルト云フコトナラバ、之ヲ政府デ強制シテ整理ヲ——關稅會議ノ結果トシテ整理シナケレバナラヌト云フコトハナイノデアリマス

○幣原國務大臣 「モラトリウム」ノ提議ヲ致スコトニ付キマシテハ、固ヨリ大藏省トモ相談ノ上デヤッタノデアリマスガ、大藏省ガ三銀行トドウ云フ風ナ御話ガアッタカ、ソレハ私ハ存ジマセヌ、何レニ致シマシテモ此三銀行ノ借款ヲ、ドウシテモ所謂不確實債務ト云フモノノ中ニ入レナケレバナラヌト云フコトモ、何等支那政府ニ對シテ吾々ハ約束シタコトハナイ、勿論三銀行ガ整理シテ貰ハナイデモ宜イ、從テ「モラトリウム」ト云フヤウナモノハ承諾ガ出來ヌト云フコトナラバ、之ヲ除外スル迄ノ話デアリマス、原則ト致シマシテ不確實債務ト云フモノヲ此際整理スル、整理スル其條件トシテハ其「モラトリウム」ヲ許ス、斯ウ云フ提議ヲ致シタノ

○杉委員 元來「モラトリウム」ヲ提議致シマスル根本ノ理由ハ、支那ニ年額二千五百萬圓若クハ三千萬圓ノ餘裕ヲ生ゼシメル、即チ三年間ニ九千萬圓程度ノ餘裕ヲ生ゼシメテ、以テ此釐金稅廢止ノ問題ヲ解決サセテヤラウト云フコトガ其根本デアッタ致シマスレバ、是等ノ借款ニシテモドウシテモ帝國政府トシテハ、其支拂猶豫ト云フモノモ其中ニ包含セシメテヤルト云フ所ノ意思ガナケレバナラナカッタ思ヒマスカ、支那政府ノ隨意デアルト云フヤウナ御考デアリマシテハ、「モラトリウム」ヲ提議シタル根本ノ理由ガ崩サレルヤウニ思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○幣原國務大臣 私ノ申シタコトガ能ク趣意ガ透徹シテ居ラヌヤウデアリマスカ、不確實債務ハ整理スルカシナイカ、支那政府ノ自由ダト云フコトヲ申シタ趣意デハナカッタノデアリマス、自分ガ整理サレヤウト思ッテモ、不確實債務ヲ持ッテ居ル人ノ自由デアリマス、自分ハ整理サレナクテモ宜イト云フナラバ、強テ關稅ノ增收ニ依テ整理サルベキ必要ハナイ、單ニ三銀行ノ借款ダケデアリマセヌ、日本人其他外國人デ不確實債務ヲ持ッテ居ル者ガ澤山アリマスカ、ソレヲ強テ今度ノ關稅會議デ決定スベキ條件ニ依テ整理スル——本人ノ債權者ノ意思如何ニ拘ラズ整理スルト云フコトハ出來ナイ話デアリマス、矢張之ハ債權者ノ意思ニ依テ今度關稅會議デ協定セラルベキ條件デ、整理シテ貰イタイト云フ者ニ對シテハ、其條件デ整理スルノデアリマス、支那政府ノ自由ト云フノデナクテ、債權者ノ自由デアリマス

○杉委員 支那政府ノ自由ト云フコトハ私ノ聽キ違ヒカ知レマセヌガ、併ナガラ三銀行ノ自由デアッタ時モ同ジ關係ト思ヒマス、即チ日本帝國ノ所謂「モラトリウム」ノ提議ト云フコトノ所謂根本ノ財政上ニ餘裕ヲ拵ヘサセルト云フコトガ根本ノ理由ト思ヒマス、ドウシテモ餘裕ガ出來ルヤウナ腹案ガナクテハナラヌト思ヒマス、三銀行ニ於テハ固ヨリ整理シテ貰ハナイト云フ考ハ恐ラクナカラウト思ヒマスガ、併ナガラ之ヲ除外スルト云フコトガアッタナラバ、政府ノ目的タル所ノ財政ノ餘裕ト云フモノガ出來ナイト云フ結果ニ陥ルカラシテ、其根本ガ崩レルデナイカト云フ意味ニ於テ御尋シタノデアリマス、矢張同ジ事デアリマスカ

○幣原國務大臣 「モラトリウム」ノ提議ヲ致スコトニ付キマシテハ、固ヨリ大藏省トモ相談ノ上デヤッタノデアリマスガ、大藏省ガ三銀行トドウ云フ風ナ御話ガアッタカ、ソレハ私ハ存ジマセヌ、何レニ致シマシテモ此三銀行ノ借款ヲ、ドウシテモ所謂不確實債務ト云フモノノ中ニ入レナケレバナラヌト云フコトモ、何等支那政府ニ對シテ吾々ハ約束シタコトハナイ、勿論三銀行ガ整理シテ貰ハナイデモ宜イ、從テ「モラトリウム」ト云フヤウナモノハ承諾ガ出來ヌト云フコトナラバ、之ヲ除外スル迄ノ話デアリマス、原則ト致シマシテ不確實債務ト云フモノヲ此際整理スル、整理スル其條件トシテハ其「モラトリウム」ヲ許ス、斯ウ云フ提議ヲ致シタノ

○杉委員 支那政府ノ自由ト云フコトハ私ノ聽キ違ヒカ知レマセヌガ、併ナガラ三銀行ノ自由デアッタ時モ同ジ關係ト思ヒマス、即チ日本帝國ノ所謂「モラトリウム」ノ提議ト云フコトノ所謂根本ノ財政上ニ餘裕ヲ拵ヘサセルト云フコトガ根本ノ理由ト思ヒマス、ドウシテモ餘裕ガ出來ルヤウナ腹案ガナクテハナラヌト思ヒマス、三銀行ニ於テハ固ヨリ整理シテ貰ハナイト云フ考ハ恐ラクナカラウト思ヒマスガ、併ナガラ之ヲ除外スルト云フコトガアッタナラバ、政府ノ目的タル所ノ財政ノ餘裕ト云フモノガ出來ナイト云フ結果ニ陥ルカラシテ、其根本ガ崩レルデナイカト云フ意味ニ於テ御尋シタノデアリマス、矢張同ジ事デアリマスカ

○杉委員 今ノ御話ヲ承ッテ益疑惑ヲ深ク致シマシタガ、三銀行ニ於テ異議ハナカラウト云フ見當カラシテ、ソレ等ノ銀行トハ何等ノ了解ヲ得ズシテ提議シタノデアルト云フ御話デアリマスカ、是ハ三銀行ガ承知スルシナイト云フ問題ヨリモ、帝國議會ニ於テ斯ノ如キ案ガ通ルカ通ラナイカト云フコトガ問題ト思ヒマス、帝國議會ニ於テモ恐ラク通ルダラウト云フ御考デ出シタカ知レマセヌガ、是ハ甚ダ議院ノ協賛權ヲ蔑視スル所ノ問題ト思ヒマス、三銀行ガ承知スルシナイト云フコトヨリ

提議致シマスル、ソレハ債權者ガ即チ三銀行側ニ於テ、是ハ事實異議ガアルマイト云フ見當ハ付ケテ居ッタノデアリマス、併シ法律的ニ言ヘバ債權者ノ承諾ヲ得ズシテ、勝手ニ關稅會議デ決定スベキ條件ヲ強イルト云フコトハ出來ナイ譯デアリマス、併ナガラ關稅會議ニ於テ協定セラルベキ條件ハ、大體債權者ニ取ッテモ満足ヲ與ヘル條件デアルト吾々信ジテ居リマスカラ、三銀行ニ於テモ異議ハアルマイト私ハ想像シテ居ッタノデアリマス、具體的ノ問題ト致シマシテ之ヲ決定スル、三銀行ノ借款ヲ此關稅會議デ決定セラルベキ條件ヲ適用スルカドウカト云フ問題ニナレバ、其具體的ノ問題ニナレバ、固ヨリ債權者即チ三銀行ノ同意ヲ得ナケレバナラヌト云フノハ當然ノ順序ト考ヘテ居リマス

○幣原國務大臣 「モラトリウム」ノ提議ヲ致スコトニ付キマシテハ、固ヨリ大藏省トモ相談ノ上デヤッタノデアリマスガ、大藏省ガ三銀行トドウ云フ風ナ御話ガアッタカ、ソレハ私ハ存ジマセヌ、何レニ致シマシテモ此三銀行ノ借款ヲ、ドウシテモ所謂不確實債務ト云フモノノ中ニ入レナケレバナラヌト云フコトモ、何等支那政府ニ對シテ吾々ハ約束シタコトハナイ、勿論三銀行ガ整理シテ貰ハナイデモ宜イ、從テ「モラトリウム」ト云フヤウナモノハ承諾ガ出來ヌト云フコトナラバ、之ヲ除外スル迄ノ話デアリマス、原則ト致シマシテ不確實債務ト云フモノヲ此際整理スル、整理スル其條件トシテハ其「モラトリウム」ヲ許ス、斯ウ云フ提議ヲ致シタノ

○幣原國務大臣 私ノ申シタコトガ能ク趣意ガ透徹シテ居ラヌヤウデアリマスカ、不確實債務ハ整理スルカシナイカ、支那政府ノ自由ダト云フコトヲ申シタ趣意デハナカッタノデアリマス、自分ガ整理サレヤウト思ッテモ、不確實債務ヲ持ッテ居ル人ノ自由デアリマス、自分ハ整理サレナクテモ宜イト云フナラバ、強テ關稅ノ增收ニ依テ整理サルベキ必要ハナイ、單ニ三銀行ノ借款ダケデアリマセヌ、日本人其他外國人デ不確實債務ヲ持ッテ居ル者ガ澤山アリマスカ、ソレヲ強テ今度ノ關稅會議デ決定スベキ條件ニ依テ整理スル——本人ノ債權者ノ意思如何ニ拘ラズ整理スルト云フコトハ出來ナイ話デアリマス、矢張之ハ債權者ノ意思ニ依テ今度關稅會議デ協定セラルベキ條件デ、整理シテ貰イタイト云フ者ニ對シテハ、其條件デ整理スルノデアリマス、支那政府ノ自由ト云フノデナクテ、債權者ノ自由デアリマス

○杉委員 支那政府ノ自由ト云フコトハ私ノ聽キ違ヒカ知レマセヌガ、併ナガラ三銀行ノ自由デアッタ時モ同ジ關係ト思ヒマス、即チ日本帝國ノ所謂「モラトリウム」ノ提議ト云フコトノ所謂根本ノ財政上ニ餘裕ヲ拵ヘサセルト云フコトガ根本ノ理由ト思ヒマス、ドウシテモ餘裕ガ出來ルヤウナ腹案ガナクテハナラヌト思ヒマス、三銀行ニ於テハ固ヨリ整理シテ貰ハナイト云フ考ハ恐ラクナカラウト思ヒマスガ、併ナガラ之ヲ除外スルト云フコトガアッタナラバ、政府ノ目的タル所ノ財政ノ餘裕ト云フモノガ出來ナイト云フ結果ニ陥ルカラシテ、其根本ガ崩レルデナイカト云フ意味ニ於テ御尋シタノデアリマス、矢張同ジ事デアリマスカ

○幣原國務大臣 ソレハ今御話ノ通りデアリマス、固ヨリ「モラトリウム」ヲ提議致シマスル、ソレハ債權者ガ即チ三銀行側ニ於テ、是ハ事實異議ガアルマイト云フ見當ハ付ケテ居ッタノデアリマス、併シ法律的ニ言ヘバ債權者ノ承諾ヲ得ズシテ、勝手ニ關稅會議デ決定スベキ條件ヲ強イルト云フコトハ出來ナイ譯デアリマス、併ナガラ關稅會議ニ於テ協定セラルベキ條件ハ、大體債權者ニ取ッテモ満足ヲ與ヘル條件デアルト吾々信ジテ居リマスカラ、三銀行ニ於テモ異議ハアルマイト私ハ想像シテ居ッタノデアリマス、具體的ノ問題ト致シマシテ之ヲ決定スル、三銀行ノ借款ヲ此關稅會議デ決定セラルベキ條件ヲ適用スルカドウカト云フ問題ニナレバ、其具體的ノ問題ニナレバ、固ヨリ債權者即チ三銀行ノ同意ヲ得ナケレバナラヌト云フノハ當然ノ順序ト考ヘテ居リマス

モ、此議會ノ協賛權ト云フ問題ニ付テハ餘程重大ナル關係ヲ生ズルと思ヒマスガ、其點ハ如何デゴザイマスカ

○幣原國務大臣 「モラトリウム」ノ提議ヲ致シタ時ニ實ハ此法律案ガ出ルト云フコトハ、吾々ハ別ニ知ラナカッタノデアリマス、大藏省ノ方ニ於テハサウ云フコトヲ考ヘテ居ッタカ知レマセスガ、吾々ハ「モラトリウム」ヲ提議シタ時ニハ、是ハ日本ノ爲ニモ亦列國ノ爲ニモ不確實債務ヲ整理スルト云フコトハ、支那自身ノ爲ニモ利益デアル、此條件モ不當ナモノデナイト吾々信ジテ居リマスカラ、是ハ所謂不確實債務ヲ有ッテ居ル者ハ、是ハ普通ノ考ヲ有ッテ居レバ必ズ之ヲ承知スルニ違ヒナイ、吾々ハ斯ウ考ヘテ居ッタデアリマス、併ナガラ其見當ガ外レテ、サウ云フ條件デハ整理ヲシテ貰イタクナイ、自分ハ勝手ニ支那政府ニ交渉シテ處理スル、斯ウ債權者ガ考ヘレバソレヲ強ル譯ニハ行キマセヌ、要スルニ見當ノ立方デアリマシテ、吾々ハ三銀行其他日本人デ不確實債務ヲ持ッテ居ル者モ、今度ノ會議デ協定セラルベキ條件デ整理ヲシテ貰フコトヲ望ムモノデアルト云フ、斯ウ云フ見當ヲ立ッテ居タノデアリマス、此見當ガ正シイカ、正シクナイカハ別問題デアリマス、吾々ハ大體サウ云フ見當ヲ以テ會議ノ交渉ヲ進行シテ居ル次第デアリマス

○杉委員 外務大臣ヘノ質問ハ此程度

デ打切りタイト思ヒマス、次ニ大藏省ノ關係ニ付テ伺ヒマス

○武内政府委員 其前ニ朝鮮銀行ニ貸渡シテアル五千萬圓ヲ、是ハ同時ニ整理シナイノハ不公平デナイカト云フコトニ付テ、前ニ御答辯致シマシタガ、御承知ノ通り成ベク婉曲ヲ申上ゲタイト思ヒマシタカラ、十分徹底シナイデ、矢張不公平デアルト云フヤウナ意見ガ、世間ニ流布サレタリ殘ッタルスルト困リマスカラ、之ヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス、此五千萬圓ヲ朝鮮銀行ニ貸シタノハ、前ニ申上ゲタヤウニ此對支借款關係ノ債務ダケヲ整理スルカラト云フテ貸シタモノデハナイノデアリマスカラ、併シ五千萬圓ノ金ガアレバ朝鮮銀行ハ總テノ整理ガ出來ルカラト云フテ貸シタノデアリマスカラシテ、其中ニハ無論對支借款モ整理スル積リデアッタト思ヒマス、所ガ一向整理ガ出來ナイノデアリマス、ソレデ先ニ申シマシタヤウナ風ニ、從來歷代ノ内閣ノ大藏大臣ガ色々考慮シテヤッタコトデモ、ソレハ少シモ其實効ガ現ハレテナイ、徹底的ニヤラネバナラヌ、サウ云フ彌縫糊塗スルヤウナ、要スルニ姑息ノ策ヲ執ッテハイケナイト申上ゲタノハ、其處ヲ申上ゲタノデアリマシテ、私共ハ現在政府ノ一員トシテ、先ノ大臣ノヤッタコトヲ非議スルコトハ致シタクナイノデアリマスカレドモ、率直ニ其政策ガ善カッタカ惡カッタカト言ヘバ全ク見

當違ニナッテシマッタ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、其責任ハ矢張前ノ當局ニモアリマスカラ、矢張是ハ朝鮮銀行ノ整理ノ仕方モ宜クナカッタノデアラウト思ヒマス、ソレデ假ニ之ヲ——此五千萬圓ハサウ云フヤウナ風デ使ハレタノデアルケレドモ、此五千萬圓ノ金ガ此借款關係ニ利用サレテ居ルト云フコトニナルト致シマスルナラバ、今度此本案デ整理スルモノハ、借款關係ニ關係シテ居ルモノハ總テスルノデアリマスカラ、其中ニ是ガ使ハレテ居ルナラバ、假ニ何等カノ方法デ使ハレテ居ルトスルナラバ、今度ノ法案ニ依テ借款關係ニ屬スルモノヲ整理シテシマヘバ、自然此金モ朝鮮銀行ノ方ニ這入ッテ行ク譯デアアル、或ハ此金ヲ利拂ニ利用シテ居ッタトスルナラバ、此金ハ矢張其處ニ這入ッテ來ルノデアリマスカラ、朝鮮銀行ノ方ニ於テハ直グニ之ヲ政府ノ方ニ返スト云フヤウナ順序ニスルノガ至當デアリマス、併ナガラ朝鮮銀行ニ於テハ御承知ノ通り、整理案ガ昨年ノ總會デ成立致シマシテ、是ハ今直グニハ返セスト云フコトニナッテ居リマス、政府ニ於キマシテモ直グ返シテ貰ヒタイノハ所謂山々デアリマスカレドモ、此財界ノ大局ノ上カラ矢張直グニ返サナクテモ、朝鮮銀行ガ都合好ク行クト云フコトヲ期待致シマス爲ニ、結局是ハ斯ウ云フ風ニシタト云フノデアリマスカラ、決シテ是ハ此際ニドウカシナケレ

バ不公平ニナルト云フヤウナ結論ニハ到達シナイノデアリマス、一寸私ノ説明ガ惡クテ分リ惡イカモ知レマセヌガ能ク御了解ヲ願ッテ置キタイノデアリマス

○杉委員 只今ノ御言葉ヲ擱ヘテ御聽キシマスコトハ甚ダ相濟ミマセヌガ、此五千萬圓ハ斯様ナ工合ニ借款ノ整理ヲ目的トシテ居ッタノデアルケレドモ——其中ニ這入ッテ居ッタニ拘ラズ、ソレハ少シモ使ハレテ居ラナカッタ、ソレハ其貸シタ時ノ政府ガ惡カッタ、所謂朝鮮銀行ノ仕方ガ惡カッタト云フヤウナ御話デアリマシタケレドモ、是ハ其後ニ於ケル所ノ政府ノ監督ガ宜シキヲ得ナカッタノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、併シソレ等ノ問題ニ付キマシテハ、之ヲ爭フコトヲ止メマシテ、今回此借款ノ整理案ヲ御提出ニナリマシタル第二ノ理由ト致シマシテハ、私ハ是ハ矢張預金部ノ金操リノ關係カラ生ジテ來タノデハナイカト思ヒマス、此政府ハ所謂公債非公募主義ヲ取りマシテ、一億五千萬圓ノ公債ヲ發行スルケレドモ、ソレハ市場ニ公募シナイト云フコトヲ言明セラレ、ソレヲ政策ノ一トシテ掲ゲラレタルガ爲ニ、郵便局ニ於テ賣出ス所ノ公債ガ賣レナカッタ場合ニ於テハ、總テ之ヲ預金部ニ於テ引受ケテ居ル、然ルニ最近ノ經濟界ノ狀況ニ於キマシテハ、中ニ政府ノ豫期スルガ如キ多額ノ公債ト云フモノヲ郵便局

ニ於テハ消化スルコトガ出來ナイ、隨テ預金部ニ對シテ段々澤山ノ公債ヲ負擔セシムルト云フコトニナツテ來ルノデアリマシテ、預金部ノ金ニ付キマシテハ、十分ニ之ヲ潤澤ニシテ置カナケレバナラナイ、來年度ニ於キマシテモ、過日ノ濱口藏相ノ御説明ニ依リマスト云フト、五千萬圓ハ預金部ニ於テ之ヲ引受ケシムルノデアルト云フ御話デアリマシタガ、然ルニ預金部ノ資金ト云フモノハ非常ニ潤渇ヲシテ居ル、一方ニ於キマシテ此對支借款ヲ整理スルコトニ依リマシテ、只今マデ預金部カラ貸付ケテアル所ノ多額ノ金ヲ預金部ニ一時ニ回收シテ、サウシテ所謂政府ノ公債政策ノ遂行ノ便ニ供シヤウト云フ所ノ理由ガ又大ナル理由ニナツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテ預金部カラシテ、此借款關係ニ付キマシテ三銀行ニ融通シテ居ル所ノ金額、即チ興業債券ヲ引受ケテ居ル所ノ金額ト、其他ノ融通資金ト云フモノガ幾ラアルカ、竝ニ若シ本案ガ成立シマシタラバ、直ニ預金部ニ返ツテ來ル所ノ金ガ幾ラアルカ、其點ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ此三銀行ガ對支借款ノ債權ヲ如何ナル割合ニ於テ負擔シテ居ルカ、即チ三銀行ガ如何ナル金額ニ依テ支那ニ金ヲ貸付ケテ居ルカト云フコトモ、序ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマ

ス  
○武内政府委員 對支借款ノ資源ハ、是マデ屢申上ゲマシタ通り、興業債券、ソレカラ預金部ノ借入金デ始末ガ著イテ居ルノデアリマスカラシテ、責任關係ハ三銀行トモ平等デアリマス、ソレカラ政府ノ關係ニナリマスル預金部ノ方ヘ返ツテ來ル金額ハ、此法案ノ第三條ニアリマスル第四回政府保障興業債券ト云フ分ノ三千萬圓、其次ニ在リマス、八十一回ノ分ニ四百六十七萬圓、サウシテソレト一千三百萬圓——其後ニ貸シタ分デスネ、ソレガ返ツテ來マス、ソレダケノ分ガ返ツテ來ルノデアリマス、ソレカラ只今御質問ノ中ニ、是ハ三銀行ノ救済デナクシテ、金融關係カラスル預金部ノ回收ヲ要スル爲ガ主ナル一ツノ理由デナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマシタガ、サウ云フコトハ此法案提案ノ理由デハアリマセヌ、併ナガラ元來預金部カラ斯ウ云フ風ノ金ヲ出スト云フコトガ、抑預金部ノ出資ノ性質ニ適ツテ居ルノデアリマスカラシテ、此金ガ返ツテ來レバ隨テ預金部ヲ整理スルト云フ精神ニモ無論適フ譯デアリマス、所謂一舉兩得ニナル譯デアリマス、サウシテ又此金ヲ回收シテ財政計畫ヲ立ツルノデハナイカ、來年度ニ於テモ種々ノ預金部ノ資金ヲ利用スル必要ガ政府ニ在ルカラ、ソレデ回收シヤウト云フ爲ニスルノデナイカト云フ御意見デアリマシタガサウ云フコトハアリマセヌ、此金ガ返ツテ來ナケレバ返ツテ來

ナイナリニ財政計畫ヲ立テルノデアリマスカラ、此金バカリヲ當ニシテ財政計畫ヲ立テルト云フヤウナ當局ノ考デハアリマセヌ、併ナガラ此金ガ入ッテ來レバハ寢カシテ置キマセヌカラシテ、是ハ預金法ニアリマスカウニ最モ有利ニ、最モ確實ニ之ヲ利用スルト云フコトハ勿論デアリマス、ソレデコソ始メテ預金部ノ機能ガ十分ニ發揮サレルモノト思ヒマス  
○杉委員 只今ノ御話ニ依テ此理由ニ非ズト云フコトハハッキリ致シタノデアリマスガ、併ナガラ是ガ返ツテ來レバ又之ヲ適當ニ利用スルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ即チ是ガ政府ノ公債政策ノ便ニ供セラレルノデハナイカト思フノデアリマス、之ヲ一般會計ニ移シ、又之ヲ公債ニ換ヘテシマウト云フコトニナリマシタナラバ、其時ニ於テ是ハ國民全部ノ負擔ニナツテシマウト云フ關係ニナルノデアリマスカラシテ、是ハ餘程注目シナケレバナラヌ問題デアリマス、斯ノ如キ重大ナル結果ヲ生ズルモノデアリマスカラ、預金部ノ金ガ返ツタ場合ニ於キマシテ、所謂政府ノ公債政策ノ具ニ供シナイト云フコトノ御辯明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、即チ曾テ大藏大臣ガ御説明ニナツタ通り、明年度ニ於テ預金部ニ於ケル公債ノ引受額ト云フモノハ、五千萬圓ヲ超ヘナイノデアルト云フコト

ノ、確實ナル御聲明ヲ此場合致サレムコトヲ私ハ希望スルノデアリマス  
○武内政府委員 只今杉君ノ仰シヤッタ通り、五千萬圓ヲ超ヘナイト云フコトハ前ニモ述べタ通り間違ナイノデアリマス、是ハ返ツテ來テモ矢張公債デ返ツテ來ルノデアリマス、現金デハ返ツテ來ナイノデアリマスカラシテ、直ニ現金ガ澤山入ッテ來テ、利用スルト云フコトニハナラヌモノト私ハ思フノデアリマス  
○杉委員 私ハ此案ガ成立致シマスト云フト政府ノ公債政策ノ根柢ガ覆ッテ來ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、政府ハ一億五千萬圓ヲ非公募ノ方法ニ依テ來年度發行スル、然ルニ茲ニ又本案提出ト共ニ七千四百六十萬圓ト云フ巨額ノ公債ヲ此三銀行ニ交付スルト云フコトニナルノデアリマス、尙ホ其他現金ニ於キマシテモ相當程度ヲ支出スルコトニナルノデアリマスガ、此公債タルヤ、即チ興業銀行其他ノ二行ニ直接渡サレルノデアリマシテ、是ガ或ハ官吏ノ退職等ノ場合ニ發行スル所ノ公債ノ如ク、所謂慰勞金トシテ出ス交付公債ノ如キモノデアリマスカラバ、ソレハ直ニ市場ニハ出ナイカモ知レマセヌ、併ナガラ交付サレル所ノ相手方ハ「シンデケート」銀行ノ代表トモ謂フベキ此三銀行ニ交付サレルノデアリマスカラシテ、是ハ即チ政府ガ公募シテ發行スルト同ジ結果ニナルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ此七千



四百六十萬圓ト云フモノハ既定ノ一億五千萬圓ニ附加テ、政府ノ發行スル公債ト云フモノハ形式ハ非公募デアルカモ知レマセヌケレドモ、其實質ニ於キマシテハ所謂公募ト同ジ結果ヲ生ズルト云フコトニナル、ノミナラズ公債政策ノ一億五千萬圓ト云フ數字ヲ超ヘテ、實際ニ於テハ二億數千萬圓ニ達スルト云フ結果ニナルノデハナイカト云フコトヲ御伺致スノデアリマス

シタノデ、是ハ興業債券ノ利拂ノ關係カラ行詰ルノデアリマスカラ、是ガ肩代リカ出來マシテ、興業債券ノ利拂ニ關スルモノダケヲ國民ガ負擔シテ、公債ノ利子ヲ拂ッテ行クト云フコトニナルデアリマス

ヲ見ルト云フ時機ニ拘ラズ、此際根本的ノ整理ヲスルコトガ誤リデアル、寧ロ此場合ハ差迫ッタ問題ニ就テ三銀行ヲ救済スル案ヲ立テ、而シテ後或ハ關稅會議ノ結果、或ハ内地ノ市場カモウ少シ變ッテ來タ時ニ、他ノ方策ヲ講ズルコトガ寧ロ至當デハナイカト考ヘルノデアリマス、今日ニ於テ斯ノ如キ根本的ノ救済ヲスルコトハ、或ハ之ヲ以テ政府ノ公債政策ノ遂行ノ手品ノ種ニ使フ

ナッテ居ルカト云フト、十七年度ニナレバ或ル銀行ハドウシテモ破産ヲスル、所ガ其破産ト云フコトハ十七年ニナッテ突然破産ヲスルノデナク、漸次其處マデ到達シツアルノデアリマスカラ、ソレガ財界ニ非常ナ惡影響ヲ與ヘル結果、其時ニ矢張此通リノ整理ヲシナケレバナラヌコトニナッテ來ル、ソレカラ斯ウ云フ徹底的ノ整理ヲシナイデモ、何カモウ少シ彌縫ノ策ハナイカ、其所デアリマス、丁度清浦内閣ノ時ニ朝鮮銀行ガ五千萬圓ノ金ガ有レバ大體總テノ債務——對支借款ノ關係マデトハ申シマセヌケレドモ、大體ノ整理ガ付クト云フノデ、政府當局ガヤッテ見タ、所ガ五千萬圓ノ金ハ何處ヘ行ツカ分ラナクナッテ、又同ジ様ナ窮境ニ陥ッテ、政府ノ方カラ整理監督ヲシテヤラナケ

○武内政府委員 杉君ハ財政ノ方面ニハ極メテ御精通デ、色々細カイ所ヘ御氣ガ付カレルコトハ私非常ニ敬服致シマスガ、御承知ノ通り非公募ト申シマスルカ、公債ノ募集額ニ制限ヲ附シ、且ツ多額ノモノヲ市場ヘ出サヌト云フコトハ、現内閣ノ生命トモ云フベキ所デ

○杉委員 杉ハ只今ノ御辯明ニ對シテ果シテソレガ御話ノ如ク行クカドウカト云フコトニ、疑ヲ持ツモノデアリマス、ケレドモ政府ガ最善ノ努力ヲ盡スト云フナラバ、暫ク其經過ヲ見タイト思ヒマス、私ハ此對支借款ヲ今日斯程マデニ整理スル必要ハナイノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレハ一方ニ於テハ此債務ノ關係ト云フモノハ即チ支那ノ關稅會議ノ重要問題ニナッテ居ル

日本ノ「モラトリウム」ノ提議ノ具ニナルノデハナイカト云フ疑惑ヲ起サセルノハ無理ハナイト思フ、此救済ノ時期ガ今日適當デアルカ、又斯ノ如キ全部ノ解決ヲ今日シナケレバナラヌカト云フコトニ就テ、御辯明ヲ得ヌコトト思ヒマス

レバナラヌト云フノデ、御承知ノ昨年末ニ朝鮮銀行ノ整理案ガ成立シタヤウニ、切レ——ニ少シノ金ヲ貸シテヤッテモ、到底サウ云フ風ナ大キナ問題ヲ救済スルコトハ出來ヌデ、結局此所ニ陥ッテ來ルト思フ、關稅會議ノ結果ノコトデアリマスガ、是モ今丁度交渉中デアリマスカラ、餘リ大キイ聲デ論議批評スルコトハ致シタクアリマセヌガ、是モ取レルカ取レナイカ、無論支那ハ拂フモノト見マセヌケレドモ、拂フニシテモ今年ノ暮ニ取レルカ、來年取レルカ、再來年入ッテ來ルカ、豫メ期待スルコトハ到底出來マセヌ、唯サウ云フヤウナ

御話ノ如キハ或場合ニ於テハ無論有リ得ルコトデアリマスカラシテ、當局ニ於キマシテハ十分此點ニ留意シ、只今御說ノヤウナコトニハ致サヌト云フコトニ取極メテ致シテ居ルノデアリマス、又三銀行ノ方ニ於キマシテモ、先日說明ヲ申上ゲマシタヤウニ、現在元金ノ關係デ三銀行ガ窮境ニアルノデハナイノデアリマス興業債券ヲ發行シテ其利息ヲ毎年々々拂ッテ行クト云フコトニナレバ、或銀行ハ十七年ニ行詰リ、或銀行ハ二十年ニ行詰ルト云フ說明ヲ申

シテ、ソレヲ今日一時ニ七千數百萬圓ノ公債ヲヤッタリ、或ハ何百萬圓ノ現金ヲヤルト云フヤウナコトハ、國內ノ市場トシテモ、甚ダ時期ヲ得テ居ナイ、政府ノ聲明ト矛盾ガアリハセヌカト思ハレル、況ヤ關稅會議モ最近ニ於テ終局ヲ見ルト云フ時機ニ拘ラズ、此際根本的ノ整理ヲスルコトガ誤リデアル、寧ロ此場合ハ差迫ッタ問題ニ就テ三銀行ヲ救済スル案ヲ立テ、而シテ後或ハ關稅會議ノ結果、或ハ内地ノ市場カモウ少シ變ッテ來タ時ニ、他ノ方策ヲ講ズルコトガ寧ロ至當デハナイカト考ヘルノデアリマス、今日ニ於テ斯ノ如キ根本的ノ救済ヲスルコトハ、或ハ之ヲ以テ政府ノ公債政策ノ遂行ノ手品ノ種ニ使フ

○武内政府委員 第一點ノ現内閣ノ政策ト衝突スルト云フ御意見デアリマスガ、ソレハ曩ニ申述ベマシタ通り、衝突モ何モアリマセヌ、全然整理緊縮ノ爲ニ徹底的ニ努力ヲ致シテ居リマス、財界ノ整理緊縮ノ爲ニ已ムヲ得ズ本案ヲ提出シタノデアリマシテ、決シテ是ト衝突スルコトハ全然アリマセヌ、ソレカラ關稅會議ノ後ニシタラドウカト云フ御話デアリマスガ、對支借款ノ關係ト財政等ノ整理ト云フコトヲ——固ヨリ關聯ハアリマセヌケレドモ、切離シテ御考察ヲ願ヒタイノデアリマス、此三銀行ノ現在ノ狀態ガドウ云フヤウニ

ハ到底出來マセヌ、唯サウ云フヤウナ

事モ考慮ノ中ニ入レヌデハアリマセヌケレドモ、三銀行ノ破産ヲ救ヒ、甚大ナ財界ノ惡影響ヲ救済スルニハ、矢張此案ヨリ外ニナイ、サウシテ之ヲヤルニ付テハ日ガ遅レバ遅レル程同ジ事ヲ結局ヤッテ行カンナラヌ、金融界ナドノ事ハ丁度資本ヲ喰ッテシマッタ時ニ破産ノ問題ガ起ルノデナク、其以前デモ起リ得ルノデアリマスカラ、折角御同様盡力ノ結果デ——自然ノ趨勢モアリマスガ、好クナリ掛ッテ居ル所ヘ、サウ云フ癩ノヤウナモノヲ横ハラセテ置クコトハ、財政當局トシテ忍ブコトハ出来マセヌ、サウ云フ主義デ之ヲ提案シタノデアリマシテ、一年延バス、半年延バスト云フコトハドウシテモ吾々了解ガ出来ヌノデアリマス、唯遺憾ナコトハ、斯ウ云フヤウナ問題ノ爲ニ國民ガ多大ナ負擔ヲスルト云フコトハ、洵ニ忍ビナイ所デアリマスケレドモ、今般ノ利益ノ爲ニ犠牲ヲ拂フヨリ致方ナイト決心シタ次第デアリマス

○杉委員 私ハ決シテ一時ヲ瀾縫シロト云フノデハナイ、斯ノ如キ終局的ノモノヲ今日出スコトガ間違デハナイカ、財界ノ立直リツツアル今日、關稅會議ハ別問題トシテ考ヘテモ、關稅會議ノ結果ハ此借款ノ資金ニ關係ヲ及ボシテ來ルカラ、ソレヲ見定メテカラヤル方ガ宜クハナイカ、今日七千萬圓ト云フ大キナ金ヲ必要ハナイ、依然トシテ預金部カラ融通シテ居ル四千七

百六十萬圓ノ儘ニ置イテ宜イデハナイカ、時期ヲ過ッテ居ル、一時ヲ瀾縫シロト云フノデハアリマセヌ

○武内政府委員 是レ以上ハ御意見トシテ拜聽シテ置キマス、政府ニ於テハ此際提案スルコトガ最モ機宜ニ適シタモノデアッテ、少シモ猶豫ノ出來ル問題デナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○杉委員 最後デアリマスガ、對支借款ノ資源ニ就テ今日整理スルト云フコトニ付キマシテ、此終局的ノ案ヲ以テ之ヲ解決シナケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ、此借款ガ今日ノ狀態ニ立到ッテ居ルコトニ付テノ責任ニ付テ、之ヲ考究シテ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、借款ノ成立致シマシタル當初ニ於キマシテ、如何ナル事情ニ依テ是ガ成立シタカト云フコトハ、大藏大臣ハ之ヲ多ク御話ニナルコトハ、内外ニ惡イ影響ヲ及ボスト云フヤウナ御話デアリマシタガ、吾々ハ決シテ左様ハ考ヘナイノデアリマス、ソレハ既ニ内外ニ公表セラレテ居リマス、所謂「菊ノ根分ケ」ト云フ小冊子ヲ以テ時ノ大藏大臣ガ後日世間ニ公表シテ居リマス、其成立ノ事情モ、其目的モ、總テ之ニ明ニナッテ居ルノデアリマ

スルカラシテ、今日之ヲ論究致シマシテモ、別ニ内外ニ惡イ結果ヲ及ボスヤウナコトハ全然ナイト思ヒマスルガ、唯私ガ憂ヘルノハ、之ヲ詳細ニ論ジマスルト、其以前ニ於キマスル、所謂支那

ニ對スル二十一箇條ノ問題デアルトカ、或ハ大隈内閣ノ南方ヲ援ケル所ノ此政策ニ付テデアルトカ、是等ノ思ハシカラザル事ニ付テ論究シナケレバナラヌト云フコトヲ、今日ノ政府ノ方ニハ御考デアルガ故ニ、餘リ之ニ付テ論究スルコトハ、内外ニ面白クナイ結果ヲ惹起スト云フ風ニ御話ニナッタノデアラウト考ヘルデアリマシテ、ソレニ付テハ私多ク論ジタイト思ハナイノデアリマスガ、併ナガラ今日此借款ガ斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトハ、銀行當事者ノ方面ニ於テ少ナカラザル責任ヲ有ッテ居ルダラウト思フノデアリマス、此借款ヲ見マスレバ、總テ契約トシテ完全ナル形ヲ取ッテ居ルノデアリマシテ、或ハ擔保ニ付キマシテモ十分ナラザル物モアリマスガ、或物ニ付キマシテハ十分ナル擔保ガ取ッテアルノデアリマス、然レニ其後ニ於キマシテ外務省ハ全然之ニ付テハ與リ知ラヌ、其目的ニ付テハ了解ニ苦シムト云フヤウナコトデ、全然之ヲ抛擲シテシマッテ、銀行當業者ガ支那ト交渉致シマシテモ、御承知ノ如ク到底完全ナル効果ヲ收メルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシテ、政府ニ於テモ多少ノ責任ハアリマセウケレドモ、當事者

ノ方ニ於キマシテ重大ナル責任ガアルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ吉會鐵道ノ借款ニ付キマシテモ、借款ノ成立後ニ於キマシテ、一年十箇月モ三銀行

ノ當事者ガ北京ニ滞在シテ交渉シタト云フコトデアリマスケレドモ、其交渉タルヤ、吾々ノ聞イテ居ル所ニ依リマスト、其前ニ出來タ所ノ借款ノ條件ヲ改善シテカラ、尙ホ之ヲヤッテ行カフト云フヤウナコトニ付テ、隨分盡力サレタヤウニ聞イテ居リマス、即チ前ニ出來タ契約ヲ變ヘルコトニノミ努力シテ、又或ハ貸シタ金ヲ取ルト云フコト

ノ事業ノ遂行ト云フコトニ付キマシテハ、少シモ考慮ヲ拂ッテ居ラナカッタト云フ事實ガアルノデアリマス、是ハ素ヨリ三銀行ダケデ出來ルコトデアアリマセヌガ、三銀行ニ於キマシテハモット此折角取ッテ擔保ノ執行ニ付キマシテモ、或ハ事業ノ目的ノ遂行ニ付キマシテモ、モット熱心ニヤッテ行カナケレバナラヌモノデアッタト考ヘルノデアリマス、又今日ニ於キマシテモ、モット熱心ニ此問題ノ解決ニ付テ努力シナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、唯政府ノ救済ヲ頼ムバカリデアリマシテ、何等今言ツタヤウナ問題ニ付キマシテハ努力ヲシテ居ラヌ、偶支那ト交渉スレバ契約ノ更改見タヤウナコトニ付テ努力スルト云フヤウナ、見當違ノ事バカリヤッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ銀行ハ少ナカラザル責任ヲ持ッテ居ルト考ヘルノデアリマス、政府ハ是等ノ銀行ノ責任ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、如何ニ御考ニナッテ居ルノデア

ニ對スル二十一箇條ノ問題デアルトカ、或ハ大隈内閣ノ南方ヲ援ケル所ノ此政策ニ付テデアルトカ、是等ノ思ハシカラザル事ニ付テ論究シナケレバナラヌト云フコトヲ、今日ノ政府ノ方ニハ御考デアルガ故ニ、餘リ之ニ付テ論究スルコトハ、内外ニ面白クナイ結果ヲ惹起スト云フ風ニ御話ニナッタノデアラウト考ヘルデアリマシテ、ソレニ付テハ私多ク論ジタイト思ハナイノデアリマスガ、併ナガラ今日此借款ガ斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトハ、銀行當事者ノ方面ニ於テ少ナカラザル責任ヲ有ッテ居ルダラウト思フノデアリマス、此借款ヲ見マスレバ、總テ契約トシテ完全ナル形ヲ取ッテ居ルノデアリマシテ、或ハ擔保ニ付キマシテモ十分ナラザル物モアリマスガ、或物ニ付キマシテハ十分ナル擔保ガ取ッテアルノデアリマス、然レニ其後ニ於キマシテ外務省ハ全然之ニ付テハ與

リ知ラヌ、其目的ニ付テハ了解ニ苦シムト云フヤウナコトデ、全然之ヲ抛擲シテシマッテ、銀行當業者ガ支那ト交渉致シマシテモ、御承知ノ如ク到底完全ナル効果ヲ收メルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシテ、政府ニ於テモ多少ノ責任ハアリマセウケレドモ、當事者

ノ方ニ於キマシテ重大ナル責任ガアルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ吉會鐵道ノ借款ニ付キマシテモ、借款ノ成立後ニ於キマシテ、一年十箇月モ三銀行

ノ當事者ガ北京ニ滞在シテ交渉シタト云フコトデアリマスケレドモ、其交渉タルヤ、吾々ノ聞イテ居ル所ニ依リマスト、其前ニ出來タ所ノ借款ノ條件ヲ改善シテカラ、尙ホ之ヲヤッテ行カフト云フヤウナコトニ付テ、隨分盡力サレタヤウニ聞イテ居リマス、即チ前ニ出來タ契約ヲ變ヘルコトニノミ努力シテ、又或ハ貸シタ金ヲ取ルト云フコト

ノ事業ノ遂行ト云フコトニ付キマシテハ、少シモ考慮ヲ拂ッテ居ラナカッタト云フ事實ガアルノデアリマス、是ハ素ヨリ三銀行ダケデ出來ルコトデアアリマセヌガ、三銀行ニ於キマシテハモット此折角取ッテ擔保ノ執行ニ付キマシテモ、或ハ事業ノ目的ノ遂行ニ付キマシテモ、モット熱心ニヤッテ行カナケレバナラヌモノデアッタト考ヘルノデアリマス、又今日ニ於キマシテモ、モット熱心ニ此問題ノ解決ニ付テ努力シナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、唯政府ノ救済ヲ頼ムバカリデアリマシテ、何等今言ツタヤウナ問題ニ付キマシテハ努力ヲシテ居ラヌ、偶支那ト交渉スレバ契約ノ更改見タヤウナコトニ付テ努力スルト云フヤウナ、見當違ノ事バカリヤッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ銀行ハ少ナカラザル責任ヲ持ッテ居ルト考ヘルノデアリマス、政府ハ是等ノ銀行ノ責任ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、如何ニ御考ニナッテ居ルノデア

ニ對スル二十一箇條ノ問題デアルトカ、或ハ大隈内閣ノ南方ヲ援ケル所ノ此政策ニ付テデアルトカ、是等ノ思ハシカラザル事ニ付テ論究シナケレバナラヌト云フコトヲ、今日ノ政府ノ方ニハ御考デアルガ故ニ、餘リ之ニ付テ論究スルコトハ、内外ニ面白クナイ結果ヲ惹起スト云フ風ニ御話ニナッタノデアラウト考ヘルデアリマシテ、ソレニ付テハ私多ク論ジタイト思ハナイノデアリマスガ、併ナガラ今日此借款ガ斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトハ、銀行當事者ノ方面ニ於テ少ナカラザル責任ヲ有ッテ居ルダラウト思フノデアリマス、此借款ヲ見マスレバ、總テ契約トシテ完全ナル形ヲ取ッテ居ルノデアリマシテ、或ハ擔保ニ付キマシテモ十分ナラザル物モアリマスガ、或物ニ付キマシテハ十分ナル擔保ガ取ッテアルノデアリマス、然レニ其後ニ於キマシテ外務省ハ全然之ニ付テハ與

リ知ラヌ、其目的ニ付テハ了解ニ苦シムト云フヤウナコトデ、全然之ヲ抛擲シテシマッテ、銀行當業者ガ支那ト交渉致シマシテモ、御承知ノ如ク到底完全ナル効果ヲ收メルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシテ、政府ニ於テモ多少ノ責任ハアリマセウケレドモ、當事者

ノ方ニ於キマシテ重大ナル責任ガアルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ吉會鐵道ノ借款ニ付キマシテモ、借款ノ成立後ニ於キマシテ、一年十箇月モ三銀行

ノ當事者ガ北京ニ滞在シテ交渉シタト云フコトデアリマスケレドモ、其交渉タルヤ、吾々ノ聞イテ居ル所ニ依リマスト、其前ニ出來タ所ノ借款ノ條件ヲ改善シテカラ、尙ホ之ヲヤッテ行カフト云フヤウナコトニ付テ、隨分盡力サレタヤウニ聞イテ居リマス、即チ前ニ出來タ契約ヲ變ヘルコトニノミ努力シテ、又或ハ貸シタ金ヲ取ルト云フコト

ノ事業ノ遂行ト云フコトニ付キマシテハ、少シモ考慮ヲ拂ッテ居ラナカッタト云フ事實ガアルノデアリマス、是ハ素ヨリ三銀行ダケデ出來ルコトデアアリマセヌガ、三銀行ニ於キマシテハモット此折角取ッテ擔保ノ執行ニ付キマシテモ、或ハ事業ノ目的ノ遂行ニ付キマシテモ、モット熱心ニヤッテ行カナケレバナラヌモノデアッタト考ヘルノデアリマス、又今日ニ於キマシテモ、モット熱心ニ此問題ノ解決ニ付テ努力シナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、唯政府ノ救済ヲ頼ムバカリデアリマシテ、何等今言ツタヤウナ問題ニ付キマシテハ努力ヲシテ居ラヌ、偶支那ト交渉スレバ契約ノ更改見タヤウナコトニ付テ努力スルト云フヤウナ、見當違ノ事バカリヤッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ銀行ハ少ナカラザル責任ヲ持ッテ居ルト考ヘルノデアリマス、政府ハ是等ノ銀行ノ責任ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、如何ニ御考ニナッテ居ルノデア

ニ對スル二十一箇條ノ問題デアルトカ、或ハ大隈内閣ノ南方ヲ援ケル所ノ此政策ニ付テデアルトカ、是等ノ思ハシカラザル事ニ付テ論究シナケレバナラヌト云フコトヲ、今日ノ政府ノ方ニハ御考デアルガ故ニ、餘リ之ニ付テ論究スルコトハ、内外ニ面白クナイ結果ヲ惹起スト云フ風ニ御話ニナッタノデアラウト考ヘルデアリマシテ、ソレニ付テハ私多ク論ジタイト思ハナイノデアリマスガ、併ナガラ今日此借款ガ斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトハ、銀行當事者ノ方面ニ於テ少ナカラザル責任ヲ有ッテ居ルダラウト思フノデアリマス、此借款ヲ見マスレバ、總テ契約トシテ完全ナル形ヲ取ッテ居ルノデアリマシテ、或ハ擔保ニ付キマシテモ十分ナラザル物モアリマスガ、或物ニ付キマシテハ十分ナル擔保ガ取ッテアルノデアリマス、然レニ其後ニ於キマシテ外務省ハ全然之ニ付テハ與

リ知ラヌ、其目的ニ付テハ了解ニ苦シムト云フヤウナコトデ、全然之ヲ抛擲シテシマッテ、銀行當業者ガ支那ト交渉致シマシテモ、御承知ノ如ク到底完全ナル効果ヲ收メルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシテ、政府ニ於テモ多少ノ責任ハアリマセウケレドモ、當事者

ノ方ニ於キマシテ重大ナル責任ガアルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ吉會鐵道ノ借款ニ付キマシテモ、借款ノ成立後ニ於キマシテ、一年十箇月モ三銀行

ノ當事者ガ北京ニ滞在シテ交渉シタト云フコトデアリマスケレドモ、其交渉タルヤ、吾々ノ聞イテ居ル所ニ依リマスト、其前ニ出來タ所ノ借款ノ條件ヲ改善シテカラ、尙ホ之ヲヤッテ行カフト云フヤウナコトニ付テ、隨分盡力サレタヤウニ聞イテ居リマス、即チ前ニ出來タ契約ヲ變ヘルコトニノミ努力シテ、又或ハ貸シタ金ヲ取ルト云フコト

ノ事業ノ遂行ト云フコトニ付キマシテハ、少シモ考慮ヲ拂ッテ居ラナカッタト云フ事實ガアルノデアリマス、是ハ素ヨリ三銀行ダケデ出來ルコトデアアリマセヌガ、三銀行ニ於キマシテハモット此折角取ッテ擔保ノ執行ニ付キマシテモ、或ハ事業ノ目的ノ遂行ニ付キマシテモ、モット熱心ニヤッテ行カナケレバナラヌモノデアッタト考ヘルノデアリマス、又今日ニ於キマシテモ、モット熱心ニ此問題ノ解決ニ付テ努力シナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、唯政府ノ救済ヲ頼ムバカリデアリマシテ、何等今言ツタヤウナ問題ニ付キマシテハ努力ヲシテ居ラヌ、偶支那ト交渉スレバ契約ノ更改見タヤウナコトニ付テ努力スルト云フヤウナ、見當違ノ事バカリヤッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ銀行ハ少ナカラザル責任ヲ持ッテ居ルト考ヘルノデアリマス、政府ハ是等ノ銀行ノ責任ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、如何ニ御考ニナッテ居ルノデア

ニ對スル二十一箇條ノ問題デアルトカ、或ハ大隈内閣ノ南方ヲ援ケル所ノ此政策ニ付テデアルトカ、是等ノ思ハシカラザル事ニ付テ論究シナケレバナラヌト云フコトヲ、今日ノ政府ノ方ニハ御考デアルガ故ニ、餘リ之ニ付テ論究スルコトハ、内外ニ面白クナイ結果ヲ惹起スト云フ風ニ御話ニナッタノデアラウト考ヘルデアリマシテ、ソレニ付テハ私多ク論ジタイト思ハナイノデアリマスガ、併ナガラ今日此借款ガ斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトハ、銀行當事者ノ方面ニ於テ少ナカラザル責任ヲ有ッテ居ルダラウト思フノデアリマス、此借款ヲ見マスレバ、總テ契約トシテ完全ナル形ヲ取ッテ居ルノデアリマシテ、或ハ擔保ニ付キマシテモ十分ナラザル物モアリマスガ、或物ニ付キマシテハ十分ナル擔保ガ取ッテアルノデアリマス、然レニ其後ニ於キマシテ外務省ハ全然之ニ付テハ與



ルカ

○武内政府委員 前段ノ此問題ノ成立  
經過等ニ付テ餘リ論議シタクナイト云  
フコトニ付テ、ソレカラ論議スルト云  
フコトニナレバ、二十一箇條ノ問題其  
他ノ問題ガ出テ來ルダラウト云フヤウ  
ナ御想像デアリマシタガ、サウ云フコ  
トハ決シテナイノデアリマス、此問題  
ガ善イトカ惡イトカ云フコトヲ論議シ  
タクナイト申シマスノハ、成程杉君ノ  
仰セノ通り、此外部ニ於キマシテ菊ノ  
何トカト云フヤウナコトモアリマセ  
ウ、又此所ニオ居デニナル方ノ中ニハ  
先生トシテ始終御教授ヲ受ケルヤウナ  
方モアルノデアリマシテ、事實ハ大  
多數ノ方ガ御承知ニナッテ居ルノデア  
リマセウ、併ナガラ民間ニ於テ、サウ云  
フコトガ論議サレタリ、知悉サレテ居  
ルト云フコトト、議會ニ於テ公々然ト  
シテ其利害得失等ガ論議サレルト云フ  
コトハ、餘程關係ガ違フノデアリマス、  
御承知ノ通り是等ノ借款ニ付テハ、支  
那國民ノ一部ニハ是ガ政治借款デア  
トカ、或ハ南北ノ統一ヲ阻害スルモノ  
デアルト云フヤウナ風ノ議論ガ、今日  
ニ於テモアルコトハ事實ナノデア  
ル、又ソレヲ利用ヲシテ種々ノ運動ナドガ  
行ハレテ居ルト云フコトモ、事實ナノ  
デアリマス、所ガ議會ニ於キマシテ矢  
張是ガ政治借款デアルトカ、ナイトカ、  
又南北ノ統一ヲ阻害スルモノデアルト  
カ、ナイトカ云フヤウナコトヲ論議ス

ルト云フコトハ、甚ダ害ガアッテ利益ガ  
ナイ、殊ニ此關稅會議等ノ開カレテ居  
ル際ニ於テ、サウ云フコトガ利用サル  
ル虞モアリマスカラシテ、成ベク國家  
ノ爲ニ餘リ細カイヤウナ事マデ立入ラ  
ズニ、御審議ガ願ヒタイト希望スルノ  
デアリマシテ、其他ニ於テハ何等ノ意  
味モアリマセヌ、第二ノ對支借款ノ始  
末ニ付テ銀行當局ノ責任如何ト云フコ  
トデアリマス、此點ニ付キマシテハ、杉  
君ノ意見ト矢張私モ同ジヤウナ感ジヲ  
持ッテ居ルノデアリマス、單ニ銀行ノミ  
ナラズ、監督者ノ側ニ付キマシテモ、同  
ジヤウナ關係ガアルト思フノデアリマ  
スガ、監督者ノ側ニ付テ之ヲ能ク調査  
ヲ致シテ見マシテモ、モウ是マデノ人  
ハ大抵居ナイノデアリマス、大勢居リ  
マスケレドモ、其處ニオ出ニナッテ居  
タ小野君ナドモ、監督者ノ一人デアリマ  
スガ、皆御代リニナッテ居リマシテ、唯  
一人ダケ其當時ノ銀行局長ト云フヤウナ  
方ガオ出ニナリマセヌ、ソレハ能ク大  
臣カラ注意ヲ致シタ位ノ程度ノモノデ  
アリマス、ノミナラズ殊ニ今日ニ於キ  
マシテハ御承知ノ通り、アレハ殿下ノ  
御結婚式ノ時ニ行政上等ノ非違ノ者  
ハ、從來懲戒サレタモノデモ、更ニ其當  
時ニ起ッタ事ニハシナイト云フ風ノコ  
トニナッテ居ルヤウデアリマス、サウス  
ルト云フト、監督者ノ側ノ者ハ居ラヌ  
ノデアリマス、ソレハ不問ニ附シテ、唯  
一方ノ人ダケヲ彼此ヤカマシク言フノ

モ理窟ハ兎モ角モ、寬嚴宜シキヲ得ナ  
イト云フヤウナ風ニナッテ居ルノデア  
リマスカラ、其點ニ付テ今後ハ篤ト注  
意ヲスル積リデアリマセヌ、此場合ニ  
之ニ對シテ斯ウ云フ方法ヲ執ルトカ、ア  
ア云フ方法ヲ執ルトカ云フヤウナコト  
ニ付テハ、何等考慮ヲシナイノデハア  
リマセヌ、考慮ハ致シタノデアリマス  
ガ、何モヤッテ居リマセヌ  
○一柳委員 過日來ノ委員諸君ノ御質  
問、其他政府當局ノ御答辯ニ依テ、殆ド  
此問題ニ對スル論議ハ盡キテ居ルヤウ  
ニ思ヒマスガ、私ハ極ク簡單ニ一二點  
御伺シタイノデアリマス、過日以來此  
借款ノ成立ニ付テ、委員諸氏カラノ御  
質問ニ對スル外務大臣ノ御答辯ハ、幾  
ラカ逡巡躊躇ヲナサル嫌ガアルヤウニ  
思ヒマス、而シテ此問題ノ要點ニ觸レ  
ルコトヲ御避ケニナル嫌ガアルト思ヒ  
マス、斯ウ云フ重大ノ案件ヲ審議スル  
ニ當ッテ、其起リヲ質スト云フコトハ當  
然ノコトデアラウト思ヒマス、抑此借  
款ノ起リガ如何ナルモノデアッタカト  
云フコトハ、吾々知リ得タイ、其點ニ付  
テ外務大臣ハハッキリシタ御答ガナイ、  
若シ對支政策ニ付テ何等カノ意味ガ加  
味サレテアッタトスルナラバ、公開ヲ御  
避ケニナッテ秘密會ニデモ移サレテ、其  
當時ノ狀況ヲ明ニ吾々ニ御説明下サル  
コトガ宜カラウト思ヒマス、此點ニ付  
テハ外務大臣ハ御避ケニナリマセヌガ、  
御避ケニナルコトハ出來得ナイノデア

ラウト思ヒマス、過日モ武内大藏政務  
次官ノ御答辯中ニ、借款ノ保障ヲシテ  
アル外ニ、政府ハ三銀行ニ對シテ覺書  
ヲ交付シテ居ルト云フコトモ御述ニナ  
リマシタ、其覺書ハ委員諸君ノ御希望  
デ、何レ御示シ下サレルコトト思ヒマ  
スガ、承ル所ニ依レバ、ソレハ外務大臣  
ノ御名ヲ以テ當時覺書ヲ交付シテア  
ル、然ルニ政府ガ此借款ニ對シテ當時  
何等ノ關係ヲ持タヌヤウニ、サウシテ  
其借款ノ起リヲ明ニナサヌト云フコ  
トハ、吾々審議ヲスル上ニ非常ニ苦シ  
ムノデアリマス、此點ヲ私ハモウ少シ  
ク進ンデ明ニシテ欲シイト云フ希望ヲ  
茲ニ述ベル次第デアリマス、若シソレ  
ヲ一般ニ知ラシムルコトガ宜クナイト  
云フナラバ、何等カノ方法デ、秘密會ニ  
デモ移サレテ、是非私トシテモ聞イテ  
見タイ、茲ニ御伺ヲ致シタイト思フ點  
ハ、過日外務大臣ノ御答辯ニナリマシ  
タ所デハ、此借款ニ對スル擔保ハ、總テ  
ノモノガ全然見込ガナイ、依テ之ヲ關  
稅會議ニ附シテ解決ヲスル方針ダト云  
フヤウナ御答辯デアリマシタガ、其借  
款ノ擔保トナッタモノガ全然見込ガナ  
イト云フコトハ、單ニ見込ガナイト云  
フダケデハ了解ニ苦シム、此借款ノ擔  
保ニ付テハ、其當時ニ於テ十分ニ御研  
究ニモナッタデアリマセウシ、又御調査  
ニモナッタコトデアラウト思フ、恐ラク  
ト見ナケレバナラス、其擔保ガ一朝ニ

シテ將來見込ガナイ、而シテ之ヲ關稅會議ニ移シテ解決スルコト云フニ付テハ、今少シ明ニ其見込ノナイト云フ事情ヲ承リタイ、今一ツハ武内大藏政務次官ノ御答辯中ニハ、此擔保ナルモノハ、此借款ノ成立トハ別デアツテ、中ニハ有利ナモノモアル、ソレハ能ク調査シテ見ナケレバナラヌト云フノデ、マダ拋棄シタ意味ノ御答辯ハナカッタ、サウスルト大藏當局ニ於テハ此擔保有望ナモノモアル、尙ホ進ンデ調査ヲシテ、出來得ルナラバ今日擔保トナツテ居ルモノヲ遂行シタイト云フ御希望ハ、マダ持ッテ御出デニナルヤウデアアル、サウスルト玆ニ外務大臣ノ見込ナシト言ヒ切ッタコトト、大藏政務次官ノ御答トハ少シク矛盾ガアル、是ハ何レニ信ヲ置イテ宜シイノデアアルカ御尋シタイノデアリマス、先ヅ此二點ニ付テ御答辯ヲ得タイ

○武内政府委員 一柳君ノ御質問ハ御尤デアリマス、此借款ノ成立シタ當時ノ事情關係ニ付テ研究ヲシタイト云フコトハ、私共モ御同感デアリマシテ、サウスルトハ篤ト取調ベタイト思フノデアリマス、併シソレニ對シテ外務大臣ガ十分答辯ヲシナカッタノハ避ケテ居ルノデアアル又言フベキコトヲ言ハナイノデアハナイカト云フヤウナ御話ガ、只今アッタノデアリマスガ、ソレハサウスルトハアリマセヌ、外務大臣ハハッキリ申シテ居ラレル、即チ要スルニ其當

時ノ政府ノ政策其モノガドウ云フ風デアッタカハ分ラナイ、斯ウ云フ答辯ヲサレテ居リマス、ソレハ寺内閣當時ノコトデアリマシテ、記錄ニ殘ッテ居リマシヤウナ事、此擔保ハドウ云フヤウナ關係デアツテ、其利權ガドウ云フ風ノモノデアッタカト云フヤウナコトハ、外務省ニ於テモ、大藏省ニ於テモ繼承シテ居リマスカラ、詳細ニ分リマスケレドモ、其當時ノ政策、何故ニ斯ウ云フヤウナ契約ヲ締結シタカ、ドウ云フ方針デスウ云フコトヲシタカト云フヤウナコトハ、書面ニ現ハレテ居ルコトノ外ハ、外務大臣ト雖モ、大藏大臣ト雖モ、御答辯ハ出來ナイノデアリマス、デアリマスカラ其當時ノ腹——ト云フテハ語弊ガアリマセウガ、ソレハ當時ノ關係ニ皆相談サレタデアリマセウガ、其關係ニ相談サレタコト、若クハ其當時懷イテ居ラレタ西原君、或ハ寺内大臣ノ思惑ト云フモノハ、外務大臣カラモ御答辯ガ出來ズ、又大藏當局ニモ其事ハ分ラナイノデアリマス、デアリマスカラシテ、其點ハ何等カ他ノ方法ニ依テ御互ニ研究スルヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ擔保ガ外務大臣ハ見込ガナイト云フ、大藏大臣ハ尙ホ見込ガアルカラ調査ヲシテ行カウト言ッテ、其處ニ矛盾ガアルハ成程御尤ナ御疑惑デアリマスガ、決シテ其處ニ何モ相違ハナイノデアリマス、外務大臣ハ現在ノ狀態ニ於テ見込ガアルカナ

イカ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、見込ガアルカナイカト云フ問題ニ對シテ見込ガナイト云フ、又私ニサウ御尋ニナリマシテモ、現在此擔保ガ見込ガアルカナイカト云ヘバ、見込ガナイト言フ、ケレドモ此問題ハドウナツテ居ルカト申シマス、今回ノ問題デ興業債券ヲ發行シテ居ル、對支借款ノ資源ニナッタ興業債券ノ側ノ問題ノ解決ハスルケレドモ、對支借款ノ側ノ問題ハ此法律案ニ依テ解決スルノデアリナイノデアリマス、サウシテ此問題ハ關稅會議ニ於テ成ベク解決シタイト云フ方針ヲ今執ッテ進ミツツアルノデアリマスケレドモ、是ハ將來ノコトデアアル、此關稅會議ニ於テ解決ガ出來ヌト云フコトニナレバ、矢張此對支借款ノ始末ノ方法トシテハ更ニ此問題ニ付テ考慮スル、或ハ研究スル、又ドウスルト云フコトヲ色色ヤツテ行カナケレバナラヌ、是ハ此處ガ結局デナイ、外務大臣ト雖モ關係ガナイカラ之ヲ拋棄シタト言ハレルノデアリ、現在ニ於テ何カ物ニナルカ、ナラナイカ、要スルニ擔保ガアルカラ、其方デ何カ取レルノデアリカ、斯ウ云フヤウナ問題ニナルト、現在サウスルト見込ハアリマセヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是ハ見込ガアルカナイカト云フコトハ、此間御手許ヘ差出シテ置イタ表ガアリマスガ、其表ノ中ノ一ト云フノニアアルノデアリマス、之ヲ御覽ヲ願ヒマス、擔保物ノ價值ハ直

グニ分ルノデアリマス、之ヲ終リノ方カラ御覽ヲ願ヒマス、先ヅ山東二鐵道デアリマスガ、其鐵道ガドウ云フ風ニナルカト云フト、此時ノ擔保物ト云フノハ、鐵道ヲ敷設スルコトニナレバ、公債ヲ發行シテ、其公債ヲ擔保ニスル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、ソレカラ滿蒙鐵道ノ分モ矢張サウスルト其募集金ガ擔保ニナツテ居ル、其募集金ノ中カラ之ヲ返ス、斯ウ云フ風ニナツテ居ル、其他ノ黑龍江、吉林ノ林鑛ノ問題ニ付キマシテモ、此處デ收入ガアレバ其收入ガ擔保ニナル、所ガ斯ウ云フモノニ全然着手シナイ、又着手スル時期ニモナツテ居ナイノデアリマスカラ、此擔保ヲ當ニシテドウスルト云フコトハ出來ナイ、吉會鐵道ノ方モ其通りデアリマス、矢張鐵道ノ借款ガ完全ニ成立シタナラバ其公募金ヲ目當ニスル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、唯一ツ有線電信ノ二千萬圓、此口ハ契約ノ中ニモ全國有線電信ノ收入、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ昨日日モ一寸申上ゲマシタヤウニ、二千萬圓ノ金ヲ貸シテ、其金ガ皆電信ノ敷設ニ利用サレテ居リマスト、相當ノ收入ガ上ルノデアリマセウケレドモ、此方デハ皆ソレガ電信ノ敷設ニ利用サレテ居ルト思ッテ居リマスケレドモ、支那側ノ情報ニ依リマスト、其中五百萬圓ハ何處カノ海底電信ニ使ッタクケレドモ、其他ノモノハ財政部

ノ費用ニ使ツタト云フコトニナッテ居ル  
サウ云フヤウナ順序デアリマシテ、電  
信ノ收入モ之ヲ支拂フダケノ收入ガナ  
イ、サウ云フヤウナ現在ガ状態デアリ  
マスカラ、擔保ヲ押ヘテ金ヲ取ラウト  
云フヤウナコトガ、今日ノ場合ニ於テ  
ハ一寸絶無デアリマス、ソレニモ拘ラ  
ズ尙ホ考慮、調査ヲシヤウト言ッタノハ  
何カ、是ガ此會議ニ於テ多分何等カノ  
目鼻ガ附クカト考ヘテ居リマスケレド  
モ、若シ付カナイ場合ニハ、是ハ何モ抛  
棄シタノデナイカラ、矢張此問題ニ付  
テ權利ノ主張セラレル相當ノモノハ主  
張シナケレバナラヌ、ソレニ付テハ其  
順序方法トシテ總テ書面ニ記入サレテ  
アル、只今申上ゲタヤウナ事柄デモ、ソレ  
ガ幾ツカ物ニナルト云フヤウナ風ニ目  
論ンデ行クヨリ外仕方ガナイと思ヒマ  
シタカラ、十分ニ考慮研究致シタイト  
云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

午後零時七分休憩

午後一時四十九分開議

○中村委員長 ソレデハ午前ニ引續イ  
テ開會致シマス——牧山君

○牧山委員 大藏政務次官ニ御尋ヲ致  
シマス、先日來ノ御答辯ニ依テ大分諒  
承致シタノデアリマスガ、此借款ノ整  
理ヲスルニ非ズンバ、大正二十二年マ  
デニ興銀、鮮銀、臺銀共ニ破産ノ状態ニ

陥ルト云フノデ、ソレヲ防止スル爲ニ  
此法案ヲ提出シタ之ガ有力ナル提案ノ  
理由ノ一ツデアルト承知致シマシタガ、  
此借款ノ問題ガ解決スレバ此三銀行共  
ニ果シテ立派ナル救済ガ出來ルノデア  
リマスカドウカ、此三銀行ノ實情ヲ承  
知スルコトハ本案ノ賛否ヲ決スル上ニ  
於テ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルノデア  
リマス、私共ガ臺灣銀行、朝鮮銀行等ノ  
整理ニ當ツタ人デ、此銀行ニ同情ヲ持ッ  
テ居ル人達ノ御話ヲ聞イテ見マシテ  
モ、興業銀行ノミハ稍事情ヲ異ニシマ  
スルケレドモ、臺灣銀行、朝鮮銀行共ニ  
對支借款ノ問題ガ解決サレテモ、現在  
ノ營業狀態ヨリ推斷シテ、結局遠カラ  
ズ破産ノ状態ニ陥ラナケレバナラヌト  
云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス、朝  
鮮銀行ノ例デ申シマスルト、約一億圓  
近イ回收ノ不能ノ貸付ガアル、之ニ對  
シテ整理方法トシテ拂込金ノ五千萬圓  
ヲ二千五百萬圓ニ減少シ、尙ホ積立金  
ノ一千七十一萬餘圓約計三千五百餘萬  
圓ヲ切捨テ、是ガ整理ノ一部ニ充テタ  
ノデアリマスルガ、尙ホ六千萬圓ノ回  
收不能ガアル是ハ取立ガ出來ルヤウニ  
銀行ノ帳簿ニハ現在相成ッテ居ルノデ  
アリマスガ、實際ハサウデナイトノコト  
デアアル、臺灣銀行モ亦同様デ、此臺灣銀  
行ノ如キモ減資ヲ斷行シ又ハ積立金ヲ  
以テ整理ニ振向ケタノデアリマセウ  
ガ、整理ノ實ヲ舉ゲルニハ容易ナラヌ  
状態デアルト思フ、私先程各派交渉會

ニ行ッテ杉君ノ御質問ヲ拜承スルコト  
ガ出來ナカッタノデアリマスガ、臺灣銀  
行朝鮮銀行ノ兩銀行共ニ大正十二年、  
十三年ノ兩度ニ五千萬圓宛、即チ一億  
萬圓ヲ預金部ヨリ融通サレテ、而モソ  
レハ破格ノ低利デ二分ト云フコトデア  
リマスガ、此低利流通等ニ依テ利鞘ヲ  
整理資金ニ向ケルノデアリマセウガ、  
結局燒石ニ水デ、斯ウ云フ狀態デ進ム  
ト云フト、臺灣銀行、朝鮮銀行共ニ破産  
ヲ免レルコトハ出來ヌト云フヤウニ、  
整理ニ携ツタ人カラモ聞イテ居リマス  
ルシ、又東京ニ於ケル有力ナル銀行家  
モ左様ニ見テ居ルノデアリマスガ、三  
銀行ノ整理ノ經過ニ付テ具體的ニ一ツ  
御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○武內政府委員 只今ノ御質問ハ至極  
御尤ナ御質問デアリマシテ、勿論本議  
會ニ此法案ヲ提出シテ對支借款ノ整理  
ヲ致シマシテモ、其他ノ貸借關係ニ於  
テ三銀行ガ支持スルコトガ出來ナイト  
云フコトニナリマスレバ、本案ノ目的  
ハ達スルコトガ出來ナイノデアリマ  
ス、政府ニ於キマシテモ監督者ノ立場  
カラ慎重ニ三銀行ノ整理案ニハ研究ヲ  
致シ、督勵ヲ致シマシテ、是ナラバ或ル  
時日ヲ籍スナラバ、三銀行共總テ元ノ  
モノニナルト云フ整理案ヲ得マシタカ  
ラ、ソレヲ深ク信賴致シマシテ、本案ヲ  
提出致シマシタ次第デアリマス、サウ  
致シマス次ニ大體整理案ノ内容マデ  
御話致スノデスカ……(牧山委員)サウ  
デスト呼フソレナラバ大體ノ事ヲ御  
話申シマスガ、朝鮮銀行ノ缺損ト見ル  
ベキモノヲ總テ勘定ヲサシテ見タノデ  
アリマスガ、ソレガ三千五百七十一萬  
圓デアッタノデアリマス、之ヲ償却致シ  
タノデアリマス、其償却致シマシタ順  
序ハ、拂込資本金ガ五千萬圓アリマシ  
タカラ、其中ノ二分ノ一、即チ二千五百  
萬圓ヲ流通致シマシタ、尙ホソレカラ  
更ニ損失填補ノ準備金ガ貸借對照表ニ  
上ッテ居ルノデアリマスガ、此金ガアリ  
マシタカラ矢張此中ニ入レタノデアリ  
マス、ソレニ依リマシテ、當然缺損ニナ  
ルト云フ分ハ、是デ綺麗ニ整理ガ出來  
マシタ、サウシテ更ニ尙ホ其外ニ滯リ  
貸シト見ルモノガアルノデアリマス、  
ソレヲ整理致シマスニ付テハ、預金部  
ノ融通ヲ致シテ居リマス、即チ六千九  
百萬圓ヲ貸シ、整理期間中二分ニ低下  
シテ、又日本銀行ガ貸シテアル一千五  
百萬圓ヲ矢張二分ニ貸シ、更ニ其外  
ニ新ニ日本銀行カラ五百萬圓ヲ整理期  
間中特別ニ融通スル、サウ致シマスル  
ト、整理期間中ノ配當ガ十四年度ノ上  
半期ヲ無配當ト致シマスルト、其後ハ  
五分、五分宛配當スルコトト致シマシ  
テ、或ル期間ヲ經過致シマスルト云フ  
ト、滯リ貸ト見ラレテ居ルヤウナモノ  
モ總テ整理ガ出來テ、所謂完全無缺ナ  
所ニ到着ヲ致スノデアリマス、此間ニ  
於キマシテハ無論重役ノ賞與金ダト  
カ、或ハ經費ノ節約ヲ行ス、又固定貸ノ

方ニ付キマシテモ、整理スルト云フコトモ勿論デアリマスガ、大體ニ於キマシテ眞面目ニ此方法ヲ勵行致シテ行キマスルト云フト、矢張完全ナ銀行ニナル、元ノモノニナルト云フコトノ確信ヲ致シテ居リマスル次第デアリマス、

是ハ朝鮮銀行デアリマスルガ、其他ノ銀行ニ付テモ大體只今申上ゲマシタヤウナ順序ニ依リマシテ、昨年ノ下半期ノ總會ニ於テ整理案ガ出來テ、ソレヲ今日ニ於テハ、着々ト實行致シマシテ居リマスル次第デアリマス

○牧山委員 只今ノ御説明ニ少シ疑點ヲ持ッテ居リマスケレドモ、回收不能金ノ内容ニ立入ルコトハ個人ノ名譽ニモ信用ニモ關スルコトデアリマスカラ、此席ニ於テ述ルコトハ憚リタイト思ヒマスガ、朝鮮銀行ハ大正七年頃デアッタト思ヒマスガ、支那ノ留學生ガ東京ニ居ッテ非常ニ學資ニ困ッタコトガアル、其時分ニ七八十萬圓デアリマシタカ、今日デハ既ニ利子共百萬圓位ニナッテ居ラウト思ヒマス、ソレハ支那ノ政府ニ貸シタコトニナッテ居ルト思ヒマシガ、無論今度ノ整理案ニモ現ハレテ居ラヌノデアリマスガ、是ハ現在ドウ云フ状態ニナッテ居ルデアリマスガ、取レルト云フ御見込デアリマスガ、或ハ整理切捨ノ方ニ入ッテ居リマスルカ

○竹内政府委員 其金ハ現在デハ九六公債ニ變ッテ居ルサウデアリマス、留學生貸金デハナシニ、支那デ發行シタ九

六公債ニ變ッテ居リマス

○牧山委員 サウスルト朝鮮銀行、臺灣銀行ノ債務ノ整理ハ向フ何年間ニ其實ガ舉ッテ、竹内君ノ所謂完全無缺ノモノニナルノデアリマセウカ、ソレヲ一寸伺ヒタイ、

○竹内政府委員 大體朝鮮銀行ハ十五年、臺灣銀行ハ十年デ大體サウ云フコトニ到達スルト思ヒマス

○牧山委員 次ハ朝鮮銀行、臺灣銀行ノ使命如何ト云フコトニ付テ向ヒタイ、是ハ銀行法ノ上ニモ明デアリマセ

ヌガ、朝鮮銀行ハ大正七年デアッタ記憶致シマスルガ、改正法案ガ議會ニ提出サレマシテ、私共ハ當時ソレヲ審議致シマシタ議員ノ一人デアリマシタ、其時ノ委員長モ確カ中村啓次郎君デアッタデアリマスガ、大正七年ノ法律ノ改正ニ依テ朝鮮銀行ト云フモノハ創立當時ノ朝鮮銀行ノ使命ヲ脱却シテ、大陸方面ニ活躍スル重大使命ヲ帶ビルト云フコトニナッタノデアリマス、併シ大體ニ於テ朝鮮銀行ト云フモノハ朝鮮及滿洲方面ニ活動スル、又臺灣銀行ハ主トシテ臺灣及南方ノ方面ニ活動スル銀行ト承知ヲ致シテ居リマスガ、是ハ現内閣ノ責任デハナイト思ヒマスガ、其後歷代ノ政府ハ此銀行ヲシテ本然ノ使命ニ非ザル處ニ活動ヲサシテ居ル、例ヘバ内地ニハ用ガナイ銀行デアルノニ、内地方面ニ莫大ノ資金ヲ貸出シ、ソレニ今日禍ヲサレテ居ルト云フヤウナ

狀態デアリマスガ、將來此兩銀行ニ對スル營本ノ根業方針、及監督ノ上ニ於テ如何ニセラレル御考デアリマスルカ、伺ヒタイ、尙ホ大正七年ニ朝鮮銀行法ノ改正案ガ出サレタ時ニ、憲政會ノ諸君ハ滿洲銀行法ヲ御提出ニ相成ッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、滿蒙方面ニ於ケル金融機關ニ對シテ、現内閣ハ如何ニ御考ニ相成ッテ居ルカ、此點モ併セテ御同致シタイ

○竹内政府委員 只今牧山君カラ御質問ニナリマシタ點モ、私共モ常ニ民間ノ有力者其他カラ、頻リト朝鮮銀行、臺灣銀行ガ其時分ノ本當ノ任務以外ニ活動シテ居ルコトノ非ヲ鳴ラサレテ、能クソレヲ聞イテ居ルノデアリマス、御尋ノ通り、朝鮮銀行ハ無論申スマデモナク、朝鮮ノ中央銀行デアリ、臺灣銀行ハ臺灣ノ矢張中央銀行デアリマス、ソレガ本然ノ機能、本然ノ任務デアアルノデアリマスガ、當時此朝鮮銀行ノ發行シタ兌換券、臺灣銀行ノ兌換券ガ、朝鮮銀行デハ滿洲方面ヘ非常ニ出テ參リマシタヤウナ關係カラシテ、其方面ヘモ活動スル、活動ト云フト語弊ガアリマスガ、其方面ニ於テモ相當ナル機關ヲ設ケテ取引スルト云フヤウナコトニナリマシタ結果ガ、遂ニ本末ヲ失ウヤウニナッタ關係ニナッタヤウニ聞及ンデ居ルノデアリマス、サウ云フコトニ付テハ卒直ニ申シマスルト云フト、マダ省議ヲ開イテ研究ヲシタ譯デモアリ

マセヌガ、私一個トシテハ多少間違ッテ居ルンデハナイカト考ヘテ居リマス、今後ドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、十分考慮研究ヲ致シマシテ、成ベク其本然ノ職責ヲ盡スコトガ出來ルヤウナ方面ニ使用致シマセウニシタイト考ヘテ居リマス、尙ホ滿蒙銀行ノ事ニ付テモ、是ハ多年ノ懸案デアリマスルガ、現内閣ニ於キマシテモ未ダ其實行ノ期ニハ至ッテ居リマセヌノデ、如何ニスベキカト云フコトニ付キマシテハ、目下研究中デアリマス

○牧山委員 臺灣銀行朝鮮銀行、等ハ兌換券ノ發行權ヲ有シテ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フヤウナ機會ニ植民地並ニ海外ノ投資機關——是等ノ金融機關ヲ統一スルト云フコトニ付テ何カ御考ガアルカ、尙ホ臺灣ニ臺灣拓殖會社ト云フヤウナモノガ出來ルトカ云フコトデアリマスガ、是ハ如何ナル形ノモノデアリマスルカ知リマセヌガ、左様な計劃ガ事實アリマセウカ、尙ホ同時ニ東洋拓殖會社ノ現狀及其移民關係ニ於キマシテモ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ東洋拓殖會社ノ金融關係、海外投資ノ關係デアリマスルガ、此關係ニ付テ伺ヒタイノデアリマス

○武内政府委員 只今ノ臺灣銀行、朝鮮銀行ノ御質問ニ付キマシテハ、内地ノ銀行ト云ハズ、植民地ノ銀行ト云ハズ、大體ニ付キマシテ銀行法、其他銀行ニ關スル法令等ニ付キマシテモ、相當

ナル改廢ヲ加ヘタイト云フヤウナ考ヲ  
持ッテ居リマスケレドモ、ソレハ今後十  
分ナル研究ヲシテ、一括シテヤリタイ  
ト云フ考デアリマシテ、今日ニ於キマ  
シテハマダ具體的ニドウ云フ方法デ、  
ドウスルト云フコトハ定ッテ居ラナイ  
ノデアリマス、臺灣ニ東殖ノ如キモノ  
ヲ設立スルカドウカト云フコトニ付キ  
マシテハ、サウ云フコトニ付テハ研究  
ハ致シマシタガ、今日ノ場合左様ナ會  
社ヲ設立スル必要ハナイ、他ノ既存ノ  
銀行ヲシテ其機能ヲ發揮セシメレバ、  
其要求ニ應ズルコトガ出來ルデアラ  
ウ、斯ウ云フヤウナ考ヲ今日デハ有シ  
テ居ルノデアリマス、東殖ノ事ニ付テ  
段々御尋ニナッタノデアリマスルガ、是  
ハ能ク調ベテ居リマセヌノデ、銀行ニ  
モ一寸關係ガナイト思ヒマスカラ、相  
當ナ機會ニ於テ取調ベテ申上ゲマス

○牧山委員 臺灣銀行、朝鮮銀行ハ、殖  
民地投資並ニ海外發展ニ關スル重要ナ  
ル使命ヲ帶ビテ居ル銀行デアリマスル  
ガ、資金ノ關係等ヨリ、近來極メテ消極  
的ナル營業ヲヤッテ居リマス、其爲ニ滿  
洲、臺灣、朝鮮等ノ方面ニ對シテモ其使  
命ヲ忘レテ、唯其整理ニ没頭ラシテ、極  
メテ苛酷ナル回收ノ方針ヲ執ッテ居ル  
ガ爲ニ、折角發展シ掛ケテ居ル所ノ總  
テノ事業ト云フモノガ大打撃ヲ蒙ッテ  
居ルノデ、此事ニ付テ屢ソレ等關係ノ  
人ミカラ苦情ヲ伺フノデアリマスル  
ガ、此事ニ關シテモ今一步ヲ進メテ、大

ニ活動セシメ、殖民地ノ開發、或ハ海外  
ニ於ケル邦人ノ發展等ニ付テ大ニ力ヲ  
盡サセルト云フヤウニ、積極的ニ何等  
カノ方法ヲ立テ、モウ少シ鞭撻ヲ加ヘ  
ラレルト云フヤウナ御考ハナイノデア  
リマスルカ、拓殖資金ヲ得ルト云フ方  
法ハ多々アルト思ヒマスルガ、此現狀  
デハ聽テハ植民地、若クハ接壤地ニ於  
ケル事業ト云フモノハ不振ニ陥ラザル  
ヲ得ヌ、是ハ國家ノ大局カラ見テモ非  
常ニ重大ナル問題ト思フノデアリマス  
ルガ、政府ニ於テハ今日ノ成行デヤッテ  
行クヨリ外ニ仕樣ガナイト云フノデア  
リマスルカ、又ハ何カ此點ニ付テ考慮  
中デアリマスルカ

○武內政府委員 只今御尋ノ通り、是  
等ノ銀行ガ十分ニ其機能ヲ發揮スルコ  
トガ出來ナンダト云フコトハ、私共モ  
能ク承知シテ居リマス、併シソレハ先  
刻來申上ゲマシタヤウナ風ニ、兎ニ角  
自分ガ大病人ヲ抱イテ居ルノデアリマ  
スルカラ、何ト活動シヤウト思ッテモ十  
分ナル活動ガ出來ナンダト思フノデゴ  
ザイマス、デ此整理ガ著々其緒ニ就キ  
マスレバ、無論此本然ノ機能ヲ發揮シ  
テ、大ニ積極的ニ活動スルコト考ヘ  
テ居リマス、特ニ是等ノ銀行ハ兌換券  
ノ發行ガ出來ル銀行デアリマスルカ  
ラ、確實ナル商業手形等ニ對シテハ、十  
分ナル貸出ガ出來ルコト信ジ、吾々  
ニ於テモ亦ソレヲ希望致シテ居リマス  
次第デアリマス

○牧山委員 臺銀及鮮銀ノ臺灣及朝鮮  
其他ニ於ケル貸出ノ歩合ハドウナッテ  
居リマスルカ、又今後臺灣銀行及朝鮮  
銀行ガ營業上最モ力ヲ注グベキ所ハ如  
何ナル天地デアリマスルカ、御承知ノヤ  
ウニ、朝鮮ニ於テハ朝鮮銀行ガ力ヲ盡  
スコト少シトノ批難ガアリ、又滿洲方  
面ニ於テハ苦情多ク、所謂運動ヲシタ  
方ガ勝チダト云フヤウナ工合ニ、陳情  
委員ナルモノガ毎年議會又ハ大藏省等  
ニ出頭シ、又銀行ノ當局者ニモ運動ヲ  
スルノデアリマス、臺銀ニ對シテモ同  
様デアアル、兩銀行ガ其使命ヲ果ス上ニ  
於テ主力ヲ注グベキ所ガ何處デア  
ルカ、見當ガ付テ居ナケレバナラヌト思  
フノデアリマスル、從來ハ全ク無方針  
ト云ハナケレバナラヌ、之ニ付テ武內  
次官ノ御明答ヲ得タイ

○武內政府委員 朝鮮ノ銀行ノ内地ノ  
投資ガ七千三百萬圓、朝鮮ガ五千五百萬  
圓、滿洲ガ八千二百萬圓、斯様ニナッテ  
居リマス、先ヅ朝鮮銀行ハ大體サウ云  
フモノデアリマス、是ハ今御說ノ通り、  
元來此銀行設立ノ趣意、銀行ノ任務ニ  
相當シタモノデナイト心得テ居リマス  
ルガ、無論御意見ノ通り主トシテ朝鮮  
ノ中央銀行デアルカラ、朝鮮ニ主力ヲ  
注グヤウニスベキモノト考ヘテ居ルノ  
デアリマス、大體サウ云フヤウナ方針  
ニ向ハシメタイト思ヒマス

○牧山委員 此數字ノ上デ見マシテ  
モ、朝鮮銀行ガ内地ニ對シテ七千萬圓、  
朝鮮ニ對シテ五千萬圓、滿洲ハ八千萬  
圓ヲ貸出シテ居ルノデアッテ、無方針ヲ  
證明シテ居ル、七千萬圓ノ貸出先……  
大口借出先ガ伺ヘレバ伺ヒタイノデア  
リマス、内地ノ分ハ大體ドウ云フ方面  
ニ對スル投資デアリマセウカ、是デハ  
朝鮮及ビ滿洲ニ居ル者ガ苦情ヲ申スノ  
モ當然ノコトダト思フノデアリマス、  
内地ニ於ケル七千萬圓ノ貸出ハ、ドウ  
云フ方面デアアルカト云フコトヲ承知致  
シタイノデアリマス、又臺灣銀行モ成  
ベク詳細ニ願ヒタイ

○武內政府委員 臺灣銀行ノハ後カラ  
申上ゲマス、大體ニ就テ牧山君ノ御意  
見ハ一應御尤ト思ヒマスガ、併シ此貸  
出先、若クハ貸出ノ口等ニ就キマシテ  
ハ、是ハ銀行ノ營業ノコトニ關シマス  
カラ、是以上ハ一寸申上ゲ兼ネマス、左  
様御承知ヲ

○牧山委員 今臺灣銀行ノ方ハ御調ベ  
中ト云フコトデアリマスガ、朝鮮銀行、  
臺灣銀行、共ニ今日デハ成程重役ハ居  
リマスケレドモ、大藏省ノ役人ガ銀行  
内ノ出張所ニ詰メ切ッテ、貸出全般ニ關  
シテ一々御指圖ニナッテ居ルト云フコ  
トヲ承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
是ハ今日ノ整理時代ニハ已ムヲ得ヌト  
申セバ、サウ云フコトモ言ヘルカモ知  
レナイガ、頗ル奇觀ダト思フノデア

リマス、サウシテ何萬圓以上ノ貸出ニ付テハ其銀行内ニ出張シテ居ル所ノ大藏省ノ官吏モ、其協議ニ加テ色々協議ヲサレル、露骨ニ言フト大藏官吏ノ承認ヲ得ナケレバ朝鮮銀行、臺灣銀行ハ貸出ヲスルコトガ出來ヌト云フ狀態デ、銀行内ノ事情ハ悉ク色々ノ方面ニ漏レルト云フヤウナコトヲ承テ居リマス

ルガ、是ハ綱紀ノ上ヨリ見マシテモ重大ナ問題デアリ、又銀行營業ノ本體カラ見テモ、其點ハ誠ニ不可思議ノコトト思フノデアリマスガ、現在大藏省ノ臺灣銀行、朝鮮銀行ニ對スル監理ノ方法及營業ノ實際ニドウ云フ工合ニ監督權ヲ行使シテ居ルノデアリマスカ、是ハ現在及ビ將來ニ向テ承テ置キタイト思ヒマス

○武内政府委員 今マデノ牧山君ノ御尋ハ能ク何デアリマシタガ、只今ノ御尋ハ非常ニ誇張サレタ御尋ノヤウニ思ヒマス、朝鮮銀行ニシテモ、臺灣銀行ニシテモ、重役ハ内地バカリニ居リマセヌ、多クハ本店ニ居リマシテ、其仕事ヲ致シテ居リマス、デ政府ト致シマシテハ、銀行法ニ依リマシテ之ヲ監督スル責任ガアリマスカラ、朝鮮銀行ハ朝鮮ノ財務官、臺灣銀行ニ於テハ臺灣總督ノ財務官ガ監督ヲ致シテ居ルノデアリマス、尤モ最近ハ御承知ノヤウニ整理ヲ執行セシメナケレバナラズ、又一方ニ於キマシテハ國民ニ負擔ヲセメシテ、財界安定ノ爲ニ今回ノ法律案ノ如キモ

ノヲ出サナケレバナラヌト云フ時機デアリマスカラ、出來得ル限り總テノコトヲ深刻ニ調査ヲ致シ、監督ハ致シテ居リマスケレドモ、牧山君ノ仰シヤッタヤウナ事實ハアリマセヌ

○牧山委員 總テノ重役會ニ大藏省ノ官吏ガ列席シテ居ル、朝鮮銀行デハ島田君デアリマスカ、其方ガ一室ヲ持ッテ居ッテ、始終貸借ノ問題ニマデ御關係ニナッテ居ルト云フコトハ、其邊ノ事情ニ通ジテ居ル者ノ皆承知致シテ居ル所デアリマス、此事ハ御否認ニナレバソレマデデアリマスガ、事實ハ其通リト承知シテ居リマス

○武内政府委員 只今監理官ガ直接事ニ當ッテ居ル、貸借ノ如キ事務マデ執ッテ居ルト云フコトニ付テ、只今サウ云フコトハナイト申上ゲタノデアリマスガ、實ハ此監督ヲスルトカ、監理ヲスルトカ云フヤウナ事ニ就キマシテハ、毎日行ッテ居ッテモ宜シ、行カヌデモ宜シ、腕サヘアレバ無理ニ出張シナイデ、遠イ所ニ居ッテモ監理監督ガ出來マスガ、又場合ニ依レバ毎日出張シナケレバ出來ヌヤウナコトモアラウト思フ、是ハ事務ニ屬スルコトデアリマシテ、所謂枝葉末節ノ事デアリマス、丁度牧山君ガ或ル會社ノ監査役ヲ致シテ居リマス、總テノ會社ノ仕事ヲスルノハ取締役カ理事ガヤルノデアリマスケレドモ、重役會議ガアレバ必ズ監査役モ出席致シテ居ル、其方ガ何カニ非常ニ便

利デアリマスカラ、民間ノ會社デモ、大抵監査ノ任ニ當ル人モ重役會議ニ出席スル、ソレト同ジコトデアッテ、只今牧山君ノ仰シヤッタヤウナ事實實際ニアッタニ致シマシテモ、ソレダカラト云ッテ總テ監理官ガ權域ヲ超エテドウシテ居ルトカ斯ウシテ居ルトカ云フコトニハナルマイト思ヒマス、寧ロ勉強シテヤッテ居ルト考ヘルノデアリマシテ、決シテソレヲ以テ直ニ職權ヲ超越スル、非常ナル干涉ヲスル、間違ッタコトヲサセテ居ルト云フコトハナイノデアリマスカラ、其點ハドウカ善意ニ、善イ方ニ御解釋ヲ願ヒタウゴザイマス

○中村委員長 一寸大藏政務次官ニ伺ヒマス、午前中ニ有線電信借款二千萬圓、其内支那ノ手ニ入ッタノハ五百萬圓シカナイト云フヤウニ仰シヤッタト思ヒマスガ、サウスルト二千萬圓ノ借款ハ即チ五百萬圓借款ト云フ譯デアリマスカ、ソレハドウ云フ譯デスカ

○武内政府委員 ソレハサウ申シタノデアリマス、二千萬圓ノ金ハ、支那ノ政府ニ交渉シテ貸付ケテ、支那政府ノ手ニ入ッテ居ルニハ相違アリマセヌ、唯世間デ——ソレハ一例ニ舉ゲタノデアリマスガ、斯ウ云フモノニ付テモ其金ガ、當初借入ノ目的デアル所ノ電信ノ用ニ供セラレテナイト云フノデアリマス、又電信ノ用ニ供セラレテナイ結果トシテ、電信ノ側カラノ收入モ何モナイ、ソレナラバドウナッテ居ルカト云フコト

ヲ調ベテ見マスルト、五百萬圓ハ交通部ノ借ニナッテ居ルノデアリマス、交通部ハ即チ電信ノ方ノ主管官署デアリマス、其千五百萬圓ハ財政部ノ方ノ所管ニ移ッテ居ッテ、財政部ノ資金ニナッテ居ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、全體ト云フモノガ途中デ消エタノデナクシテ、支那政府ニ這入ッタケレドモ、支那政府ガ初ニ約束シタ通りノ目的ニ利用ヲシナイデ、五百萬圓ハ交通部ノ方ノ電信ニ使ッテ居ルケレドモ、後ノ千五百萬圓ハ財政部ノ方ニ入レテシマッタ、財政部ノ方ニ入レテシマッタ、ドウ使ッタカト云フコトニナリマス、

一部ノ支那ノ民間ノ人ナドハソレハ矢張戰爭ナドノコトニ使ッタノデアアル、斯ウ云フコトヲ言フノデアリマス、尤モ是ハ真相ガサウ云フ風ニナル、斯ウ云フヤウナコトヲ支那ノ一部ニ言ッテ、取立テニ付テモ困難デアルシ、或ハソレヲ擔保トシテ、收入ニ付テモサウ云フヤウナ事情カラ收入ガナイ、支那側デ申スコトヲ御紹介致シタ次第デアリマス、日本政府ト致シマシテハ、電信ノ爲ノ借款デアリマスカラ、電信ノ爲ニ二千萬圓ハ皆使ッテ居ルモノト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○中村委員長 ソレデハ最後ニ仰シヤッタ此二千萬圓ト云フノハ、矢張有線電信借款トシテ日本側デハ之ヲ主張シ、支那側ノ今苦情ヲシイ言分デアアル五百萬圓シカ使ッテ居ナイノデアアルカラ、五



百萬圓ニ對スル擔保トシテ此有線電信借款ナルモノハ存在スルノダト云フ、此苦情ニ對シテハ、日本政府ハ承認ヲ與ヘテナイト認メテ宜シウゴザイマス

カ  
○武内政府委員 御尋ノ通りデアリマシテ、ソレハ支那側デサウ云フコトヲ言フ人ガアツテ、總テノ事ガ圓滿ニ進捗シナイト云フコトダケデアリマシテ、日本ハ勿論此二千萬圓ハ電信借款トシテ貸付ケタモノニ相違ナイノデアリマス、一部デサウ云フ言前ガアリマシテモ、ソレハ承認シテ居リマセヌ

○長峰委員 私ノハ一寸、簡單デアリマス、私承リマスト關稅會議ニ於テ英米側ノ主張ニ依リマスルト、此外債ノ優先順位ヲ定メテ居ルト云フコトノ話ガアルサウデアリマスガ、詰リ日本ノ此債權ト云フモノハ、其順位デモ定メラレル場合ニハ、ドウ云フ風ニ取扱フ受ケルモノデアリマセウカ、ソレハ將來ニ返濟ヲ受ケル時分ニ、餘程考ヘナケレバナラヌ問題ダト考ヘマス、所謂、ヒドク微弱ニ見ラレテ、斯ウ云フモノハ後廻シト云フ風ニ裁定サレテモ、將來心配モノダト思ッテ居リマス

○矢吹政府委員 只今ノ御尋デアリマスガ、實ハ色々ノコトガ新聞ニ出タリ何カシテ居リマスノデ、自然御惑ヒカト思ヒマスガ、今ノ御懸念ノ點デゴザイマシテ、詰リ西原借款ノ如キモノヲ、償還ノ順位ヲ後廻シニスルト云フ虞ハ

ナイカト云フヤウナ御質問カト伺ッテ居リマスガ、是ハ只今相談ヲ致シテ居リマス、實際ニ於テハサウ云フヤウナコトハ出テ居ラナイノデアリマス、初ニ於テ色々ナ噂トシテハ西原借款ノ如キモノヲ日本ガ有シテ居ル、不確實ノ債權ノ中ニ加ヘテ、關稅會議ニ於テ整理スベキ支那ノ債務トシテ見ルヤ否ヤト云フヤウナ議論ガ多少アッタヤウニモ思ヒマス、併ナガラ今日ニ於テ當然

是等ハ西原借款ノ如キモノモ此際整理スベキ支那ノ不確實債務ノ中ニ加ヘベキモノナリト云フコトニ、支那モ亦列國モ承認シテ居ルノデアリマス、而シテ將來出來マス不確實債務ノ整理ニ付テハ、現在マダ豫想シテ申上ゲル譯ニ參リマセヌケレドモ、日本政府ト致シマシテハ只今御質問ノ如ク、西原借款ノ如キモノヲ後廻シニシテヤルト云フ如キ、假ニ主張ガ列國ノ間ニアッタト致シマシテモ、ソレニハ無論應ジマセヌ、總テ一丸トシテ日本ノ不確實債權ヲ整理スル考デ居リマス、只今ノ所御懸念ノヤウナ事ハナイト云フコトヲ明言致シマス

○長峰委員 事外國ニ關スル事デアリマスカラ、伺ッテ宜シイカト思ヒマスケレドモ、支那ノ外債ハ凡ソ十億圓位アルト云フコトデアリマスガ、外國ハ如何ナルヤウナ風デ支那ニ貸シテ居ルモノデアリマセウカ、大體知レマスナラバ承知致シタイ、政治借款モアリマセ

ウ、實業借款モアリマセウ、色々アルコトト思ヒマスガ、日本ノ借款ノ價值ヲ知ル上ニ於テ之ヲ承知致シテ置キタイト思ヒマス

○矢吹政府委員 御承知ノ日本ハ一番債權額ガ多イノデアリマシテ、全體ト致シマシテ三億七千萬バカリアルノデアリマス、ソレデ大部分ガ西原借款デ二億三千萬デゴザイマシタカアリマス、其他ノ日本ノ分ニ付テハ其以外ノ

金ノ如キモノモ這入ッテ居リマス、而シテ尙ホ此機會ニ於テ從來支那ニ於テ日本ガ奪略サレタリ、或ハ財産上ノ損害ヲ受ケタリシタ其損害モ、此債務整理ノ機會ニ支那ニ整理サセタイト思ッテ居リマス、ソレ等ヲ合セマシテ只今申シマシタ三億七千萬圓デアアル、他ノ

國ノ總額ハ大體申上ゲマス、英吉利ガ六千萬バカリ、亞米利加ガ矢張六千萬、佛蘭西モ六千萬位デアリマス、即チ日本ガ一番大キイノデアリマス、ソレカラ先程仰セノ十億ト云フノハ其外債ノ外ニ支那ノ内債ガアリマス、一寸英國ノ分ヲ申上ゲマスガ、英國ノ分デ不確實公債トシテ計上セラレマシテ居リマス分ガ、支那ノ金デ五千六百萬元バカリデアリマス、ソレカラ交通部關係ノ借款ガ七百二十四萬元、交通部以外ノ借款ガ二百一十萬元、ソレカラ損害賠償トシテ請求セントシテ居リマスモノ

ガ二百五十萬元バカリデアリマス、合セテ六千萬元バカリニナリマス

○中村委員長 永峰君、支那ノ各國ノ借款ニ付テ確實債權ニ屬スルモノ、不確實債權ニ屬スルモノト表デモ貰ッタラドウデス

○永峰委員 ドウゾ左様ニ御願致シマ

○矢吹政府委員 ソレデハ後デ表ニシテ差上ゲマス

○永峰委員 只今牧山君カラ三銀行ノ事ニ付テ話ガアリマシタガ、此際斯ウ云フ風ニ救濟ヲ爲サルナラバ、此三銀行ニ對シテハ何カ條件ヲ御附ケニナリマシテハドウカ、私ハ朝鮮銀行ガ只今ノ狀態ニ於テ配當ヲ求メテ居ルト云フコトハ不都合デアルト思フ、大藏省ハ之ニ對シテハ嚴然タル態度ヲ執ッテハ如何デアリマス、地方ノ銀行等ニ於テハ進ンデ整理ト云フコトニ付テハ、無配當ヲ忍ンデモ整理スルト云フ銀行モ數アリマス、斯ウ云フ銀行ニサウ云フコトヲ大藏省カラ勸メル事ヲ吾々ハ希望シテ置キマス、ソレデ是等ノ銀行ハ元來爲スベキ事ト別ナコトヲヤッテ居ル、朝鮮銀行邊リニ於テハ例ヘバ正金銀行ガヤッテ居ル爲替賣買、貨幣本位ノ違ッテ居リマス支那ノ金銀爲替相場ヲ扱ッテ居リマス、ソレヲヤッテ尙ホ朝鮮ノ仕事モヤッテ居ル、正金銀行ノ如ク爲替資金ト云フモノヲ十分ニ持ッテ居ッテモ、容易ニ事績ガ舉ラナイ事業ヲヤッテ

居ル、サウシテ又東洋拓殖會社ノヤルヤウナ不動産ノ貸付モヤツテ居ル、私共ニ言ハセルト實際何ノ銀行ダカ分ラナイト云フヤウナ、各方面ニハ不平ガアル、拓殖會社ノ眞似ヲシタリ、滿洲ニ出テハ銀貨ノ「ノート」ヲ發行シテ見タリ、支那ノ本部ニ於キマシテ金銀ノ爲替相場ヲ扱ッタリスルコトヲ止メテ、朝鮮銀行ハ朝鮮銀行トシテノ本然ノ立場ニ歸リマシテ進ンデ貫ヒタイ、臺灣銀行ハ臺灣銀行トシテ、朝鮮銀行ハ朝鮮銀行トシテ自己ノ途ヲ進ンデ行ッタナラバ私共ハ斯ウ云フ失敗ハナカッタラウト思フ、大藏省ハ斯ウ云フ御交渉ヲ爲サツテハドウカ、私ハサウ云フ風ノコトデ十分注意ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○武内政府委員 只今永峰君カラノ心カラノ御議論御注意ガアリマシタガ、至極御尤ト存ジマス、政府ニ於キマシテモ慎重ニ考慮スルコトニ致シマス

○柏田委員 外務御當局ニ對シテ御伺ヲ致シマスガ、支那ノ新聞紙上ニ朝鮮銀行ハ張作霖ニ對シテ一千萬圓ノ借款ヲシテ居ル、擔保トスル所ハ奉天ノ砲兵工廠、是ハ幾多ノ支那ノ新聞ニ出テ居リマス、サウシテ若シモ張作霖ガ没落スルヤウナ事ガアレバ、其場合ニ於テハ何時デモ其擔保品ヲ執行スルコトガ出來ル、斯ウ云フ條件ノ下ニ金ヲ一千萬圓貸シタト云フ記事ガ新聞ニ記載シテアリマスガ、政府ニ向ッテ救済ヲ求

メテ居ル朝鮮銀行ガドウシテ左様ナ餘裕ガアルカ、若シシタトスレバ不届デアル、サウ云フ事實ガアリマスカ

○武内政府委員 只今柏田君ノ御尋ニナリマシタコトハ絶對ニアリマセヌ

○柏田委員 臺灣銀行ガ昨年ノ下半期ニ於テ、昨年度デアリマスガ、五分ノ配當ヲシテ居リマス、恐ラクソレハ鮪配當デアラウト思ヒマスガ、果シテ五分ノ配當ヲシテ居ッタノデアリマスカ

○武内政府委員 昨年ノ下半期ノ總會ノ結果五分配當ヲシタイト云フノデ、今認可ヲ申請ヲ致シテ居リマスガ、政府ニ於キマシテハ調査中デアリマス、未ダ認可ヲ致シテ居リマセヌ、未ダ配當ハシテ居ラヌノデアリマス

○柏田委員 政府ニ向ッテ、此西原借款ノ爲ニ破産ヲスルカモ知レナイ、依テ其整理ヲ冀ハネバナラヌト云ツテ、其結果斯ノ如キ法案ガ茲ニ提出サレテ居ルノデアリマス、サウシテ若シモ此法律案ガ通過ヲ致シマスレバ、國民ハ七百萬圓乃至一千萬圓ノ負擔ヲシナケレバナラヌ、然ルニ其銀行ハ——臺灣銀行ハ斯ル嘆願ヲ政府ニ請願シテ、政府ハ其法律案ヲ議會ニ提出シテ居ル場合ニ、五分ノ配當ノ申請ヲシテ、政府ニ於テモソレヲ考慮シテ居ルトスレバ、臺灣銀行ハ其營業ノ範圍ニ於テ五分ノ配當ノ可能力ガアル、故ニ其許可ヲ申請シテ居ルモノト見ナケレバナラヌ、年五分ノ配當ト云ヘバ相當デアツテ、此不

景氣ニ際シテソレガ出來ルトスレバ、餘程餘裕ガアルモノト見ナケレバナラヌノデアアル、サウ云フコトヲ申請スルト云フコトハ、即チ餘裕ノアルト云フコトヲ裏書スルモノデアリマス、政府ニ於テハソレハドウ云フ考デ、今マデ其内容ヲ調査セズシテ、到底整理シナケレバ破産スル、サウ云フ見込デ此法律案ヲ出シタノデアリマスガ、恐ラク此法律案ヲ出ス時ニハ其五分ノ配當ノ許可ノ申請ガ出テ居ッタデアラウト思ヒマスガ如何デアリマスカ

○武内政府委員 度々此提出ノ理由ニ付テハ申上ゲタノデアリマスガ、簡單ニ繰返シマス、今回ノ整理ハ無論之ヲ棄テテ置ケバ、或ル時期ニ於テ三銀行ガ破産ヲスル、破産ヲスレバ其結果トシテ保證義務ニ立ッテ居ル帝國政府ガソレヲ賠償シテ行カナケレバナラヌコトガ一ツ、モウ一ツ大キナ理由トシテ、詰リサウ云フヤウナ結果ニ到達スルマデ、又到達シタ後ニ財界ニ重大ナル惡影響ヲ與ヘルカラ政府、ハ之ヲ整理シナケレバナラヌノデアリマス、ソレカラモウ一ツ緣故モ關係モナイ銀行ガ、勝手ニ營業ヲシテ居ッテ、ソレガ非常ニ困ッタカラソレヲ單純ニ救済スルト云フノデアハナイ、即チ此金ハドウ云フ風ニシテ出タ金デアアルカト申シマスルト、政府ノ政策遂行ノ爲ニ、銀行自身ガ營業トシテ斯ウ云フ貸出ヲシタト云ッ

ノデナクシテ、要スルニ時ノ政府ニ代ッテ——トマデ申スト語弊ガアリマス、又單純ニ德意シタト云フモ正鵠ヲ得テ居ナイト思ヒマス、其眞中位ノ所デ此金ガ出テ居ルノデアリマス、ソレデ本案ヲ提出シタノデアリマシテ、唯自分ガ勝手ニ損ヲシテ、サウシテ破産ヲシサウダカラソレヲ救済シテヤルト云フ場合ノヤウニ、少シノ配當モ出來ヌト云フヤウナ譯ニモ是ハイカナイ、寬嚴宜シキヲ得テ、アツチモ治マリ、コツチモ治マルト云フコトデナケレバ、眞ノ良イ方法トハ云ヘナイ、自分デ勝手ナ事ヲシテ破産トナッタノヲ救済スルト云フ意味デハナイノデアリマス、是ハ政府ニ於テモ大キイ聲デ言ヒタクナイノデアリマスガ、サウセンケレバナラヌ道行ニナツテ居ルカラ、此始末ヲスルト云フコトモ一ノ理由デアリマス、此邊御考慮ヲ願ヒマスルト、此程度ガ丁度寬嚴宜シキヲ得タモノデナイカト思フノデアリマス

○柏田委員 大藏政務次官ノ御説明ヲ聽キマシテ愈疑問ヲ深クシタノデアリマスガ、提案ノ理由ヲ御説明ニナリマシタ際、本會ニ於テ大藏大臣ハ私ノ質問ニ對シテ、一體是ハ法律上、民法上、保證債務ノ問題デアアルカドウカト云フ御尋ヲシタ時ニ、法律上ノ根據ノミデナク、實際銀行ガ困ッテ居ルカラ整理シナケレバ破産ノ狀況ニアルガ故ニ、一般財界ヲ考慮シテ整理スルノデアアル、斯ウ申シテ居ラレル、所ガ今大藏政

府提出(政府提出)委員會議錄 第四回 大正十五年二月十日 一六

務次官ノ御話デハサウデモナイト云フコトデアル、何ダカ意味ガ非常ニ不明デアリマスガ、兎モ角モ法律上ノ保證ト云フ譯デナイ、一般財界ノ影響ヲ防止スルト云フ意味デモナイ、唯サウ云フ事ヲセンケレバナラヌヤウナ破目ニ陷ツタカラ、是ハ整理センケレバナラヌト云フコトデアリマスガ、私ノ間ハサウ云フ意味デハナイノデアリマシテ、臺灣銀行ハ下半年ニ於テ五分ノ配當ヲアル許可ヲ申請シテ居ル、餘程餘裕ガアルニ違ヒナイ、サウスレバ再々御説明ニナッタヤウニ、三銀行ハ破産ノ状態ニ在ル、ソレヲ裏切テ居ルヤウニ思フ、又一般營業トシテモ不當貸出ヲシテ回收不能ノモノガアル、ソレト西原借款ト斯ウアルノデアリマシテ、サウスレバ政府ガ之ヲ救済シナケレバナラヌト云フ理由ガ何處ニ在ルカ、全ク不明ニナツテ參ッタノデアリマス、今申シタ通り、保證債務ノ法律上ノ根據ト、今言ッタヤウナ破産ノ状態ニアルト云フコトヲ裏切ツテ居ル五分ノ配當ノ許可ノ申請、之ヲ否定スルダケノ理由ヲ、簡明直截ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○中村委員長 一寸一言致シタイ、私カラ大藏政務次官ニ質問シタラ、ソレデ却テ能ク分ルデナイカト思フ、大藏政務次官ノ最後ニサレタ答辯ハ、極メテ要領ヲ得テ居ルト思フ、ソレハ、三銀行ハ普通ノ銀行業務トシテハ少シ筋違ノヤウデアツタガ、併ナガラ政府ノ特殊銀行デアアル爲ニ、政府ノ或ル國策ノ遂行ノ爲ニ此對支借款ニ應ゼシメタ、ソレガ爲ニ茲ニ一億圓ト云フ借金ヲ背負ッテ居ルカラ、其支拂ガ出來ナイト云フコトニナレバ、銀行ハ其資本金以上ノモノガ無クナツテシマツテ、配當ドコロデナク、非常ナ窮境ニ陷ル、其結果ハ延テ日本ノ經濟界其他ニ非常ナル惡影響ヲ及ボス、斯ノ如キ狀態デアルカラ、其政府ノ國策ノ良否ハ別問題トシテ、兎ニ角、權威ノアル政府カラシテ監督ヲ受ケテ居ル銀行ガ、其國策ニ利用サレタノデアルカラト云フコトガ土臺デ此法案ガ提出サレタ、此壓迫サヘナカッタナラバ三銀行トモ五分ドコロデナイ、一割ノ配當モ出來タノデアルカモ知レナイ、ソレガ國家ノ一ノ國策ノ爲ニ窮境ニ陷ツタ、此銀行ヲ破産ヨリ救フノハ國家ノ當然ノ責任デアアル、此見地ニ立ッテ此法案ガ出來タノデアアル、斯ウ云フ風ナ意味ニ大藏政務次官ガ答辯シタノデアレバ、只今ノ柏田君ノ質問モ氷解サレルノデアアルマイカト思フ、大藏政務次官ノ御考ハドウデスカ

○武内政府委員 只今委員長カラ御話ニナリマシタ通りデアリマス

○柏田委員 先程ノ意味ハ違フヤウニ拜聴致シマシタガ、序ナガラ重ネテ御尋ネ致シマス、今私ノ御伺シタ二點ノ中デ、最後ノ點ハソレデ宜イト致シマシテ、第一ノ保證債務ノ根據ノ點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツ、法案ノ第七條ニアリマスガ、三銀行ガ支那カラ借款ノ支拂ヲ得タル場合ニ於テハ政府ニ返サナケレバナラヌ、無論ソレハ銀行トシテハ當然ノ義務デアリマスケレドモ、今迄ノ經過ニ依テ見マスト、將來モ此儘デハ矢張同ジ經路ヲ辿ッテ回收ガ不可能デアラウト思フ、關稅會議等ガアリマスガ、兎ニ角モ容易ナラヌコトデアリマス、支那ニ對スル列國ノ借款ノ狀況ヲ見マスト、何レモ其回收ノ爲ニ特ニ外國人ノ官吏ヲ入レテ總テノ徵稅ノ事務ヲ執リ、自分等ノ債權ヲソレカラ控除シテ、然ル後餘ッタ所ヲ返スト云フ方法ヲ取ッテ居ル、斯ウ云フ方法デモ取ラナケレバ此回收ハ不可能ト思フ、其點ニ付テハ假ニ此法律案ガ通過シタトシテ、之ヲ最モ確實ニスル爲ニサウ云フ手段ヲ御取リニナル御考デアリマスカ

○武内政府委員 先ニ御尋ニナリマシタ保證債務ノ履行ニ因ルカドウカト云フコトニ付テ、大藏大臣ノ本會議ニ於ケル説明ト私ノ説明ガ齟齬シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ齟齬ヲ致シテ居リマセヌ、大藏大臣ガ本會議デ保證債務ヲ履行スルト云フコトガ本案提出ノ根據ト申シタノデアリマセヌ、元來保證債務ト申シマス、銀行ト政府ノ關係デナクシテ、ソレハ興業債券ヲ持ッテ居ル人ト政府トノ無論關係ニナルノデアリマスカラ、ソレヲ興業銀行ガ支拂ヲシナイ時ニ始テ發生スルノデアリマスカラ、今提案シタノガ直ニ保證債務ヲ負フテ居ルカラ其履行ノ爲ニシタトハ言ヘマセヌ、是ハ大藏大臣ノ言フノモ私ノ考モ違ヒマセヌケレドモ、唯本案ヲ提出スルニ付テ一ツノ條項トシテ考ヘナケレバナラヌコトハ、之ヲジツト抛ッテ置ケバ矢張三銀行ガ破産ヲスル、サウスルト興業債券ノ支拂ガ出來ナイカラ、其場合ニ於テ政府ハ矢張是ダケノ金ヲ出シテ始末ヲシテ行カナケレバナラヌ、サウ云フコトニ到達スル、見ス／＼手ヲ懷ロニシテ其所ニ到達スルノヲ待ッテ居ベキ性質ノモノデナイ、ダカラ早ク此機會ニ於テ始末ヲシテシマツタガ宜イト云フノガ、是ハ矢張理由ノ一ツデアリマス、之ヲ提案シタ條件トシテ申述ベタノデアリマシテ、保證債務其物ガアルカラ保證債務ノ履行トシテスルノデナイト云フコトハ、大藏大臣モ私ノ意見モ違ッテ居リマセヌ、ソレカラ更ニ借款取立ノ事ニ付テ御注意ガアリマシタガ、是ハ私共モ柏田君ト同様憂慮致シテ居リマス、曩ニ外務政務次官カラモ御話ガアリマシタ如ク、既ニ此會議ノ開ケル以前カラ慎重ニ考慮研究ヲ致シマシテ、先ヅ第一ニハ決シテ此借款ガ差別待遇ヲ受クベキ性質ノモノデナイト云フコトモ、考慮研究ノ結果決定シ、サウシテ今日ニ於テハ全權ガ會議ニ參列シテ居リマスカラ、此場合全權ノ態度又方針等ニ關係アル事項ニ付テハ此所デ具體

的ニ申上ゲル譯ニハ行キマセヌケレドモ、多大ノ注意ヲ以テ回收ノ出來ルヤウニ努力スル積リデアルト云フコトデ御諒承ガ願ヒタイト思ヒマス

○神田委員 大分質問モ重ナッタヤウデアリマスガ、本案自體モ決シテ輕イモノデハアリマセヌ、就テハ表面上外務當局モ大藏當局モ、何トナク奧齒ニ物ガ挾ッタヤウナ返答ガアルト思フ、私ハ成ベク斯ウ云フ會ハ公開ニシタイノデアリマスケレドモ、當局ノ御考デ若シ差支ガアルナラバ秘密會ニシテ、當時ノ内容ヲモウ少シ御尋シタイト云フノガ一般ノ希望デアリマスカラ、之ヲ多數ニ問フテ決メテ戴キタイ、當局ニ聽イテ其上デ御採決ヲ願ヒマス

○中村委員長 私ハモウ少シ質問ヲ續ケマシテ自ラ秘密會ニナルダラウト思ヒマスガ、今外務大臣ガ見エマシタカラ、外務大臣ニ一寸質問シタイト思ヒマス、ソレガ濟ミマシテカラ秘密會ニ……

○神田委員 私人考デハ其内容ヲ聽イタ上ニ質問シタ方ガ順序ガ宜クハナイカト思フ

「贊成々々」ノ起ル

○中村委員長 如何デスカ

○武內政府委員 宜シウゴザイマス

○中村委員長 ソレデハ秘密會ニ致シマス

午後三時五分秘密會ニ入ル  
午後三時四十七分秘密會ヲ終ル  
○中村委員長 是ヨリ會議ヲ公開シマ

ス、私一寸此場合ニ御尋致シタイト思ヒマス、ソレハ此今繼續シテ居ル案ニハ直接ノ關係ヲ持タナイノデアリマスカラ、本會議デ質問デモシヤウカシラト思ヒマシタガ、ソレ程デモアリマセズ、多少此案ニ關係モアリマスルノデ伺ヒマスガ、要ハ矢張政府ノ關與シテ居ル對支借款問題ニ關シテ今國民ガ一時限リデモ非常ニ注意ヲシテ居ルト云フヤウナ場合デアリマスカラ、私ハ膠濟鐵道ノ問題ニ付テ御尋ヲシタイ、近頃斯ウ云フ手紙ガ私ノ所ニ來テ居リマスガ、此手紙ヲ朗讀シマススト私ガ質問スルヤウナコトガ皆中ニ入ッテ居リマスカラ、今手紙ヲ讀ンデ伺ッテ見タイト思ヒマス、濟南及青島ノ現狀ヲ見ルニ膠濟鐵道ハ昨秋時局ノ動搖以來早クモ其客貨車徵發ヲ受ケ貿易季節ヲ前ニシ乍ラ土產物ハ貨車配合難ノ爲メ出廻リ少ク内外商人ハ手ヲ束ネテ嘆聲ヲ發スルノミ一日モ速ニ時局ノ平定ヲ祈リツツアリタルニ時局ハ管ニ平定セザルノミナラズ、天津方面ヲ中心トシタル戰局ハ今ヤ山東方面ニ轉移シタル狀況トナリ、殊ニ李景林氏山東ニ入り直魯聯合軍ノ威勢ヲ整フルノ必要ニ迫リテ以來膠濟鐵道貨車ノ殆ド全部及客車機關車亦大部分軍用トシテ徵發セラレ客車ノ運轉回數一日僅ニ一回ニ減ゼラレ而モ最近青州驛ニ於テハ乘客全部ヲ客車ヨリ引キ下シ兵士ヲ乗セテ發車シ寒風ニ晒サレ乍ラ次ノ客車ヲ待チ

夜間漸ク便乗スルヲ得タル等ノ暴狀アリ一、二等乗車券ヲ發賣シ乍ラ一、二等車ノ連結ナク一等乗車券ヲ有シツツ辛ウジテ三等車ニ苦力輩ト同乗シテ目的地ニ達スルノ外ナキ如キ體タラクニテ山東唯一ノ國際的ノ交通機關タル膠濟鐵道ハ全ク内外旅客ノ便宜ヲ圖ル機關ニアラズシテ寧ロ却テ之ニ脅威ヲ與フル結果ヲ呈スルニ至リ候殊ニ最近貨車ノ殆ド全部ガ軍用トシテ拉シ去ラレタル結果土產物ハ勿論石炭ヲスラ搬出スル能ハズ嚴寒ニ入りタル昨今ノ青島市場ハ奧地ヨリノ出廻リ杜絶ノ結果燃料炭ノ騰貴ニ次グニ缺乏ヲ以テシ在住民ハ二重三重ノ苦痛ニ泣カザルヲ得ザル狀況ト相成候、貿易季節ヲ前ニシ乍ラ土產物ノ出廻リ杜絶ノタメ貿易市場ハ消沈ノ極ニ達シ内外商人ノ苦ミ察スルニ餘アリ膠濟鐵道ハ四千萬圓ノ借款擔保トシテ當然我監督ノ下ニアルベキ筈ニ有之然ルニ最近ノ如ク客貨車ハ所在ニ徵發セラレテ或ハ傷キ或ハ破損シ現ニ實用ニ堪ヘザルモノ其半數ニ達スルモ之ヲ修理シテ急需ニ應ズルコトスラ能ハズ斯ノ如クンバ膠濟鐵道ハ行ク行ク遂ニ軍閥ノ蹂躪ニ委シ盡シ殆ド經濟的破産ノ境地ニ陥ルナキヲ保シ難クト存ジ候不肖ハ現ニ坊子西炭礦經營者トシテ目前此暴狀ノ打擊ヲ被リ少カラザル犧牲ヲ忍ビツツアル一人ニ有之既往ヲ推シテ將來ヲ察スルニ膠濟鐵道ハ到底現在ノ如キ經營狀態ニ委ネテ晏如タ

ルベキニアラザル事ヲ深ク憂慮スルモノニ御座候、閣下聰明素ヨリ最近ノ狀勢ニ就テハ十分御熟知ノ事ト存ジ候ヘ共我政府當局トシテモ此際此鐵道ノ暴狀ニ對シテ何等カ適當ノ對策ヲ講ゼラルベキ必要ヲ認メラルベク我等山東在住民トシテハ切ニ我政府ノ適當ナル對策ニヨリ膠濟鐵道ヲ永ク我等ノ經濟的發展ノ利益トシテ活用シ共存共榮ノ大義ノ爲ニ全力ヲ注ギ得ル有意義ノ機關タラシムルニ至ランコトヲ熱望シテ已ム能ハスニ云々、是ハ或者カラ或者ヘ送りマシタ手紙デアリマス、又只今ノ手紙ト出シ主ト、受取人ノ違フ他ノ手紙ノ一節ニ斯ウ云フコトガアリマス、矢張膠濟鐵道デアリマス、前略、鐵道ハ彼等虎狼ノ占有ニ歸シ客貨車ハ殆ド彼等ノ宿舍ニ使用セラルル等其狂暴ノ狀比スルニモノナシ斯ノ如クニシテ我監視ノ吏之ヲ咎ムル能ハズ領事モ之ヲ拒ム能ハズ或ハ猥リニ邦人ヲ脅カシ或ハ敢テ國交ヲ傷ケ而モ北京政府之ヲ糺ス能ハズ却テ辭ヲ兵亂ニ藉テ一ニ督軍ノ橫暴ニ任ス噫帝國ガ讓ル所ノ公有財產ハ民國ニ何等ノ利益ヲ與ヘズシテ軍閥ノ橫奪スル所トナリ却テ之ヲ戰亂ノ用ニ供シツツアリ彼ノ鐵道預金一百四十萬圓ノ如キ公然白晝ニ強奪セラレタル等實ニ帝國ガ還附ノ大精神ニ背戾スル甚シキモノナリ若シ夫レ膠澳域内二十萬餘ノ民衆ニ至テハ三十年間文明ノ生活ヨリ投棄セラレテ虎狼ノ毒牙ニ委セ

ラルルガ如ク日夜生存ニ安ンズル能ハズ云々、斯ウ云フヤウナ手紙ヲ受取ッテ居ルノデアリマス、只今議題ニナッテ居リマス案トハ直接ノ關係ハゴザイマセヌケレドモ、膠濟鐵道ハ四千萬圓ノ借款ノ擔保ニシテアル、其鐵道ヨリ舉ッテ來ル利益ト云フモノハ、帝國ハ此鐵道ノ中ニ會計ノ人ヲ入レテ之ヲ監督セシメテアルニモ拘ラズ、百四十萬圓ト云フ預金ハ持去ラレテ、サウシテ帝國ニ對スル利拂等モ怠ッテ居ルト云フヤウナ狀態ニアルコトヲ此手紙ニ於テ見ルノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ如何ナル處置ヲ執ッタノデアリマセウカ、只今ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルノデアリカ、此機會ニ於テ御尋ヲシタイノデアリマス

○幣原國務大臣 其手紙ノ日附ハ何時ニナッテ居リマスカ

○中村委員長 先ニ讀ミマシタノハ一月二十二日附ニナッテ居リマス、是ハ手紙ヲ受取リマシタ者カラ木村亞細亞局長ノ手許ニマデ出シタヤウデアリマス、後ノハ一月十二日發、青島在住ノ某氏カラ送ッタモノデアリマス

○幣原國務大臣 今ノ御手紙ニ書イテアリマス事項ハ大體其通りデアリマス、甚ダ殘念ナコトデアリマスケレドモ、今回ノ事變ニ關聯致シマシテ、山東ノ張宗昌將軍ガ自分ノ軍ヲ動かス必要上、貨車ヲ取上ゲテ軍ノ輸送ニ充テ、從テ商人ガ荷物ノ輸送ノ便利ハ殺ガレタ

ト云フ事實ガアルノデアリマス、不規則ナル政治ガ山東方面ニ行ハレテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、從テ其都度山東鐵道ニ日本人ガ運輸主任ニ行ツテ居リマスガ、運輸主任ハ固ヨリ、青島ニ居リマス總領事モ、濟南ニ居リマス總領事モ、亦一方ニ於テ北京方面ニ於テ日本ノ公使カラモ、再々中央政府及地方官憲ノ注意ヲ喚起致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ張宗昌將軍ノ立場カラ見ルト、戰爭デ負ケルカ勝ツカト云フ危急存亡ノ際ル所ダト云フ理由ヲ以テ、是ハ戰時デアルカラ致方ガナイト云フヤウナ、隨分亂暴ナ理窟デアリマスガ、其理窟ヲ以テドウシテモ貨車ノ配給ヲ中々承諾シナイノデアリマス、之ヲ強制執行シテ、支那ノ兵隊ヲ押除ケテシマッテ、一般ノ貨物ノ爲ニ貨車ノ配給ヲヤルト云フコトハ、事實出來ナイ話デアリマス、如何ニモ亂暴ナ話デアリマスケレドモ、支那ノ現狀ハ致方ノナイ現狀ナノデアリマス、併ナガラ最近ニ至リマシテハ、各方面カラ支那ノ中央政府及地方官憲ニ嚴重ナ注意ヲ致シマシタ結果、大分回復致シテ參リマシタ、マダ此事件以前ノ狀態ニハ復舊致シテ居リマセヌケレドモ、若干復舊致シマシテ、貨車ノ配給ナドモ承諾致シヤウニナッテ居リマス、隨分長イ間商人ガ貨車ノ便宜ヲ斷タレタト云フコトハ、如何ニモ不都合千萬ナ話デアリマスケレドモ、事實ハ其通りナノデアリ

マス、昨今漸ク此方ノ要求ヲ容レテ、惡イ事態ヲ矯正スルヤウニナリ掛ッテ居ル次第デアリマス、政府ノ方デハ度々此問題ニ付テ濟南青島北京邊ヘ訓電ヲヤッタコトガアリマス、尙ホ引續イテ中央及地方官憲ヲ督促致シマシテ、日本ノ商人ニ不便ヲ來サヌヤウニ出來ルダケカラ盡シテ居ル次第デアリマス

○中村委員長 其貨車客車等ノ復舊ノ模様、軍隊ノ手カラ離レテ實用ニ供セラレテ居ルヤウナ數ハ分リマセヌカ

○矢吹政府委員 大凡ノ數ハ分ッテ居リマス

○中村委員長 將來デモ矢張此支那デハ戰爭ノ場合ニ外務大臣ノ仰セラレタ戰争ダカラ已ムヲ得ナイト云フコトデ、自分ノ死活ノ岐ルル所ダカラ、亂暴ニ鐵道ナドヲ利用スルコトハアリハシナイカ、サウ云フヤウナ場合ニ鐵道ニ對シテ鐵道ヲ擔保トシテ金ヲ貸シテ居ルト云フ場合ニ、其鐵道ハ勝手ニ使フハ、鐵道ノ收入ハ皆卷上ゲテシマウト云フコトデアレバ、鐵道ヲ擔保トシテ居ル借款ガ非常ナ債權ノ脅威ヲ受ケル、併ナガラ鐵道借款ガ最モ有利ナモノデアリシ、ドウシテモ之ニ對シテ相當ナ考慮ヲ持タナケレバナラス、殊ニ膠濟鐵道ノ如キハ帝國ガ非常ナ犧牲ヲ拂ッテ居ッタモノヲ、日支兩國ノ共存共榮ノ爲ニ支那ニ讓渡シタ、ソレデ四千萬圓ノ借款ヲ成立サセテ居ルノデア

ルカラ、何處迄モ日支兩國共存共榮ノ爲ニ、其有終ノ美ヲ濟サナケレバナラヌ、有終ノ美ヲ濟サウト思ッテモ、只今ノヤウニ軍閥ノ掠奪ヲ恣ニシナケレバナラヌヤウナ事情ノ存在スルコトモ、亦認メナケレバナラスノデアアルカラ、玆ニ何等カ善後策トシテ、之ヲ日支合辦事業ノヤウニシタラドウデアアルカ、日支合辦事業トシテ居シバ支那ノ軍閥モ之ニ手ヲ着ケナイ、是ハ現ニ青島ニ於ケル屠牛場或ハ電燈會社、是等ニ對シテハ一指モ觸レナイデ成績ガ佳良デアル、合辦事業ニシタナラバ或ハ其目的ヲ達スルノデアアルマイカト云フヤウナ考慮ヲ持ッソノデアリマス、之ニ對シテ政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ、伺ッテ置キタイ

○幣原國務大臣 只今委員長ノ御話ノ通りニ、支那ノ軍憲ガ戰時デアルカラト云フ理窟ヲ以テ、外國人ノ權利ヲ無視スルト云フコトハ有リ得ベカラザルコトト思ヒマス、實ニ亂暴ナ話デアアルコトハ十分ニ私モ認メテ居リマス、實際支那ノ軍閥ト云フカ、軍事官憲ノ行動ニ因ッテ外國ノ債權者ガ債權ヲ執行スル方法ニ付キマシテ、色々ノ障害ヲ受ケテ居ルコトハ此鐵道ダケデアリマセヌ、殆ド支那ノ一般總テト云ッテ宜カラウト思ヒマス、ドノ鐵道モ軍閥ガ勝手ニ自分ノ軍隊ヲ動かス用ニ供シテ居ル爲ニ、商人ニ非常ナ迷惑ヲ掛ケルコトガ殆ド通例ノヤウニ思ヒマス、然ラバ此事態ヲドウ云フ風ニシテ改善出來ル

カ、是ハ日支合辦事業ニスレバ此事態ヲ改善ガ出來ルカト云ヘバ、私ハサウハ思ヘナイノデアリマス、日支合辦事業ニ致シマシテモ——此鐵道ヲ日支合辦事業トシタカラト云ツテ、軍閥ガ其鐵道ヲ自分ガ恣ニ軍事上ノ用ニ供シナイト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、屠牛場トカ洗濯場トカ云フヤウナモノハ、支那ノ戰亂ニ因ツテ影響ヲ受ケルコトガ比較的ニ少ナイデアリマセウガ、鐵道ノ如キハ軍事行動ノ目的ニ直接影響ヲ有シテ居ルモノデアリマスカラ之ガ日支合辦デヤツテ居ルカラト云ツテ、ソレニ遠慮シテ軍事上ノ目的ニ使ハスト云フコトヲ期待スルコトハ中ミムヅカシイト思ヒマス、是ハ總テ借款ノ鐵道ニ關係ヲ致シテ居ル外國人ガ困難ヲ致シテ居ル問題デアリマスケレドモ、今日迄然ラバ之ニ改善スル有力ナ方法、有效ナル方法ト云ツテハ發見サレナイ狀態デアリマス、合辦ニシタガ爲ニ改善ニナルト云フコトハドウモ期待出來マイト思ヒマス、今日ニ於テマダ左様ナ考ハ持ツテ居リマセヌ

ノ方モ矢張十四年六月三十日ノ調デ、島内ガ一億七千九百二十二萬三千圓、内地ガ二億七千九百七十三萬一千圓、海外ガ三千二十五萬四千圓、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、此表ハ先刻ノ色々ノ御注意ヲ裏書スルモノデアリマス

○中村委員長 今外務大臣ノ仰シヤルヤウニ、外國人モ此鐵道借款ニ對シテ非常ニ困ツテ居ル狀態ハ、最近英國公使ガ外交部ニ照會ヲ發シテ、京奉、津浦兩鐵道ノ收入ニ軍人ガ干涉スルノハ對支借款ノ打撃ナリトテ之ガ制止ヲ要求シタ、膠濟鐵道ハ邦人ト支那トノ日支兩國ノ貿易ノ要港デアル膠州灣ニ連絡

○牧山委員 私人個人ノ貸借ヲ聽イテ居ルノデヤナイデス、唯ドウ云フ方面ニ例ヘバ船舶業者ナラ船舶業者ダトカ、或ハドウ云フ事業ニ如何様ナ貸出ガアルカト云フコトヲ御伺致シタイノデス

○幣原國務大臣 御尤メ次第デアリマス、私ノ只今支那ノ事情ハ支那ノ軍事官憲ガ鐵道ニ干涉致シ、鐵道ノ運行ニ迷惑ヲ來シ、一般ノ商人ニ對シテ迷惑ヲ來ス現狀デアルト申シマシタノハ、軍用デアアルカラ致方ガナイ、打捨テテ置クヨリ仕方ガナイト云フ意味デ申シタノデナイ、ドウカシテ此改善ノ方法ハ講ジナケレバナラヌ、殊ニ膠濟鐵道ノ如キハ支那ハ條約上ノ義務ハ何處迄モ履行シナケレバナラヌノデアリマスカラ、義務ヲ履行サセル爲ニハ出來ルダケノ力ハ今日迄モ盡シテ居ルノデアリマス、將來ト雖モ尙ホ引續イテ斯様ナ不當ナ行動ヲ繰返スコトノナイヤウニ力ヲ盡ス覺悟デアリマス

○武內政府委員 色々國務ヲ御議決ニナリ、御研究ニナルノニハ、是ハ必要ナ資料ト思ヒマスガ、一寸今ソレヲ直ニ申上ゲルト云フ譯ニ參リマセヌカラ、別ノ機會ニ於テ又御相談スルコトニ致シマス

○中村委員長 今外務大臣ノ仰シヤルヤウニ、外國人モ此鐵道借款ニ對シテ非常ニ困ツテ居ル狀態ハ、最近英國公使ガ外交部ニ照會ヲ發シテ、京奉、津浦兩鐵道ノ收入ニ軍人ガ干涉スルノハ對支借款ノ打撃ナリトテ之ガ制止ヲ要求シタ、膠濟鐵道ハ邦人ト支那トノ日支兩國ノ貿易ノ要港デアル膠州灣ニ連絡

○中村委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會シマス、次ノ日ハ公報デ御知ラセシマス

午後四時十二分散會

○武內政府委員 先刻牧山君カラ御尋ニナリマシタ答辯ガ殘ツテ居リマス、ソレト同時ニ曩ニ朝鮮銀行ノ内譯ヲ申上ゲマシタガ、最近ノモノデナカタカラ改メテ申上ゲマス、朝鮮銀行ノ十四年六月三十日ノ調ガ内地ガ九千六百萬八千圓、ソレカラ朝鮮ガ五千五百八萬五千圓、滿洲ガ一億七百二十二萬三千圓、海外ガ八百八十三萬五千圓、臺灣銀行

○中村委員長 今外務大臣ノ仰シヤルヤウニ、外國人モ此鐵道借款ニ對シテ非常ニ困ツテ居ル狀態ハ、最近英國公使ガ外交部ニ照會ヲ發シテ、京奉、津浦兩鐵道ノ收入ニ軍人ガ干涉スルノハ對支借款ノ打撃ナリトテ之ガ制止ヲ要求シタ、膠濟鐵道ハ邦人ト支那トノ日支兩國ノ貿易ノ要港デアル膠州灣ニ連絡